

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県立のじぎく会館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県人権啓発協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	日常清掃(共用部、会議室、ホール、便所等:毎日)、床面ワックス及びガラス清拭(年1回)	会議室の利用状況に応じ効率的に清掃を実施するなど、業務を安価かつ良好に実施できた。	○	◎
	設備保守管理	電気工作物保守管理(年2回)、エレベーター保守点検(月1回)等を専門業者に依頼し実施	必要な設備保守点検を良好かつ適確に実施した。	◎	◎
	植栽管理	玄関、中庭等の植栽を日常的に管理する	植栽を美しく保つことにより、施設の良い環境を維持できた。	○	○
	警備	専門業者に警備を依頼	盗難等の被害もなく、警備業務を良好に実施できた。	◎	◎
	小規模修繕	利用者の安全確保等のため不具合を発見次第、迅速に実施	今後とも、設備の状況を把握し、不具合には適切に対応していく。	○	○
	法定点検の実施	非常用電源装置の点検等、法令に従って実施	必要な設備保守点検を良好かつ適確に実施した。	◎	◎
運 営 業 務	開館日・開館時間等	休館日:祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、開館時間:9時～17時	施設の稼働率増に向けて、今後とも、利用者ニーズの動向を踏まえながら検討する。	○	○
	公共性・公平性の確保	業務実施において、特に中立性、公平性、公正性の確保に留意	業務実施において、公平性、公正性の確保に留意し、良好に実施できた。	○	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	指定管理協定に基づき人権に関する研修、啓発、研究を行い、会館施設の維持管理を実施する。	研修:県職員、市町職員研修、企業人権研修、住民研修への講師派遣等を実施した。 啓発:「ひょうご・ヒューマンフェスティバル」、「人権のつどい」の実施、情報誌「きずな」の発行等を実施した。 研究:研究紀要の作成や人権相談等の事業を実施した。	○	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	年1回会館利用者にアンケートを実施	アンケート結果を施設の環境整備に反映させている。	○	◎
利用 状況	利用者数	33, 247人 [前年度:27, 557人]	Wi-Fi 完全整備等、会館の利便性についての PR を推進し、コロナ禍で落ち込んだ利用者数向上を目指す。	○	○

	施設稼働率	29.5%[前年度:29.6%]	同上	○	○
収支状況	収支計画と実績	指定管理料:6,654千円 利用料金収入:11,697千円	指定管理料:11,442千円 利用料金収入:13,384千円	○	○
	経費節減に向けた取組	光熱水費、コピー代等節約の徹底	館内廊下の電灯の間引き等による光熱水費の節約、事務用品等の節約を徹底した。	○	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	会館利用に関する様々な要望(開閉館の時間、荷物の一時預かり等)について、協会全体として統一した対応を実施	対応可能なものについては、その都度決め細やかに対応した。	○	◎
	危機管理体制の確保	自然災害(地震、台風等)や事故災害(火災、けが、急病等)の発生に備え、のじぎく会館利用者の安全を確保するため、危機管理マニュアルを策定し、危機管理体制を構築している。 ・消防訓練の実施(9月、2月) 危機管理時の連絡体制、マニュアルを整備	災害等発生時に利用者の安全確保を最優先にして適切に行動できるよう、危機管理面、安全面の対応体制を確保していく。	○	○
	県・関係機関との連携	利用状況等について県所管課と情報交換等を密にし、県関係機関の利用促進や各種事業を県との連携強化を図りながら推進した。	県との連携により、会館利用促進や事業充実を図ることができた。	○	◎
	業務の再委託の状況	専門的なスキル・技術を要する会館管理業務について再委託を実施	適切な再委託により、効率的な会館管理・運営を実施することができた。	○	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

適切な清掃・保守管理業務等による良好な施設環境の維持、利用者へのサービス向上、企画展示等施設の有効活用、安定した利用者数・利用率・利用料金収入の確保に努め、経費節約等も実施した結果、コロナ禍ではあったが概ね良好に業務を実施した。次年度も引き続き適切な管理運営に努めたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部総務課

施設名	県立のじぎく会館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県人権啓発協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

※「協会」＝指定管理者である(公財)兵庫県人権啓発協会

○利用率の向上と利用料金収入の確保

・利用率は、平成18年度34.7%→平成19年度36.8%→平成20年度34.0%→平成21年度32.2%→平成22年度18%(耐震改修のため10ヶ月閉館)→平成23年度28%→平成24年度32.1%→平成25年度31.6%→平成26年度32.9%→平成27年度36.5%→平成28年度33.5%→平成29年度34.2%→平成30年度36.3%→令和元年度34.0%→令和2年度32.6%→令和3年度29.6%→令和4年度29.5%となっている。令和4年度もコロナ禍であったが、前年度より利用者数は増えてきている。今後は、Wi-Fiを活用したオンライン会議での利用などをPRし、利用率の維持に努めたい。

・利用料金収入金額についても、協会の営業努力により、平成16年度8百万円に対し、平成23年度以降は10～14百万円(23年度10,243千円→24年度12,366千円→25年度12,449千円→26年度12,718千円→27年度14,491千円→28年度12,847千円→29年度13,359千円→30年度14,241千円→令和元年度14,843千円→令和2年度15,992千円→令和3年度13,116千円→令和4年度13,384千円)と安定した収入の確保が図られていると評価できる。

○効率的な維持管理と経費削減

・施設維持管理費については、平成17年度33,308千円→平成18年度30,778千円→平成19年度28,157千円→平成20年度25,835千円→平成21年度24,827千円→平成22年度18,340千円(うち15,637千円は耐震改修に伴う事務所移転経費等)→平成23年度19,304千円→平成24年度16,861千円→平成25年度16,811千円→平成26年度16,426千円→27年度18,593千円(ロビーチェア一等を更新)→28年度16,781千円→29年度16,653千円→30年度17,725千円→令和元年度17,244千円→令和2年度18,719千円→令和3年度16,106千円→令和4年度23,225千円(うち停電による修繕費5,266千円、燃料費高騰による光熱水費5,143千円)と概ね着実な削減が図られていると評価できる。

○サービスの向上

・平成22年度の耐震改修工事に伴う施設・設備のリニューアルもあり、平成24年度以降毎年実施している利用者アンケートの結果でも、施設・設備や職員の対応等に対する不満は少なく、日常的に利用者へ丁寧な対応を心がけているものと評価できる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

○利用率の向上と利用料金収入の確保

・今後とも料金の安さ等を十分にPRし利用促進を図り、利用率の向上と安定的収入の確保を図るよう指導していく。

○効率的な維持管理と経費削減

・今後とも総合管理委託等について安価かつ良質な外部委託業務の執行を確保するとともに、光熱水費については常に節約に心がけるなど維持管理費の効率的執行を図るよう指導していく。

○サービスの向上

今後とも利用者の声を踏まえ、一層のサービス向上を図るよう指導していく。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立丹波の森公苑	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫丹波の森協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	建物内の日常清掃、定期清掃(床・窓ガラス)を行い、美観を保つ。	常清掃は毎日実施し、定期清掃(床ワックスがけ、窓ガラス)は年4回実施、蜘蛛の巣とりは年2回実施した。	◎	◎
	設備保守管理	施設全体の空調・電気・ガス・消防・昇降・電話設備及びホール設備等の保守並びに空気環境・水質・害虫等の衛生管理を行う。	日常点検は週2回程度実施し、専門的な保守点検は月1回実施した。	◎	◎
	植栽管理	敷地内の除草・剪定、樹木管理等を行い、美観を保つ。	親水河川等の除草は業者に委託したほか、森づくりスタッフによる里山管理、日本庭園など専門的な管理が必要な所を含め芝生広場も職員による草刈りを実施し、経費の節減に努めた。	◎	◎
	警備	時間外の安全確保のため施設全体の警備を行うとともに、大きなイベント開催時の安全確保のため駐車場管理を行う。	機械警備は、夜間休日について警備会社に委託。利用者が多い時(丹波の森フェスティバル)は、駐車場の整理を委託した	◎	◎
	小規模修繕	施設設備が適切、良好に利用できるように、修繕を行う。	日常点検、保守点検等により異常が見つかった場合、可能な限りすみやかに修繕を実施した。 【実施内容】 ブラインド取替、トイレ配管修理、加圧給水ポンプ修理、自動ドア修理、扉補修、グラウンド整備器具修理、鹿柵修理、倉庫シャッター修理	◎	◎

	法定点検の実施	ビル衛生管理法に基づく特定建築物の環境衛生管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・空気環境 :年 6 回 ・供給水残留塩素等 :週 1 回 ・供給水水質 :年 2 回 ・受水槽 :年 1 回 ・排水設備 :月 1 回 ・ねずみ・昆虫防除 :月 1 回 ・冷却塔レジオネラ菌 :年 1 回 	◎	◎
運 営 業 務	開館日・開館時間等	【開苑時間】 9:00～22:00 【休苑日】 月曜日 (祝日の場合翌日) 12月29日～1月3日	生活創造センターの設置及び管理に関する条例どおりに開館した。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	統一的な基準により、施設の貸館業務を行う。	生活創造センターの設置及び管理に関する条例に基づき、統一的な貸館業務を実施した。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	丹波地域のすべての人々が緑豊かな自然の中で、自己を高め、グループ活動を支援できる事業を行う。	魅力ある地域づくり、地域活動の支援、生涯学習の場の提供、芸術文化活動の支援等を行った。 【指定管理業務】 ・丹波の森公苑運営委員会 運営事業(R5.3.7 開催) ・「丹波の森」情報発信事業 ホームページ、フェイスブック等を随時更新 ・講座「丹波学」開催等事業 「丹波につながる歴史再発見～悠遠なる丹波史と伝統文化から学ぶ丹波の魅力～」をテーマに5回開催 ・生活創造活動支援事業 生活創造活動グループサポート事業によるイベント支援(19回)、消費生活出前講座(10回)、消費生活にゆーすの発行(4回) ・展示ギャラリーの開設 写真展、絵画展など23件利用 ・伝統文化活性化支援事業 子どもたちのための和楽器鑑賞会を丹波地域内の小学校特別支援学校9校で実施 【自主事業】 ・花づくり活動支援事業 ・丹波の森フェスティバル開催 ・里山ボランティア養成事業 ・オオムラサキの舞う里山づくり ・地域高齢者大学・大学院の設置 ・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 ・丹波の森国際音楽祭の開催 ・ホール自主事業 ・丹波の森アートフェスティバルの開催 ・丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・トライやる・ウィーク受入 ・芸術文化団体活動支援事業	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	利用者に対し、丹波の森公苑について、ハード・ソフト両面からアンケートを実施する。	「森公苑利用の理由」「利用の感想」「森公苑の情報発信」等について、下記の来苑者計 244 人にアンケートを実施した。 ①ホール・会議室等有料施設利用者 ②有料施設利用の主催者 ③一般の来苑者(グループ活動コーナー、屋外利用者、丹波の森フェスティバル)	◎	◎
利用状況	利用者数	利用者数、施設稼働率の増加に努める。 [前年度:50,643人]	ホール、テニスコートの利用休止があったため、令和4年度の施設利用者は45,216人で前年比89.3%となった。	○	○
	施設稼働率	利用者数、施設稼働率の増加に努める。 [前年度] ホール 21% 会議室 45% グラウンド 48% テニスコート 92%	コロナウィルス感染症の影響が薄れ、会議や行事等の再開から施設稼働は順調であったが、工事による休業が影響し、前年並みとなった。 [ホール 23%、会議室 41%、グラウンド 54%、テニスコート 84%]	○	○
収支状況	収支計画と実績	【収入(単位:千円)】 利用料金収入 10,791 指定管理料 129,669 <u>その他収入 1,302</u> 合計 141,762 【支出(単位:千円)】 人件費支出 76,055 維持管理費 63,817 <u>事業運営費 1,890</u> 合計 141,762	【収入(単位:千円)】 利用料金収入 6,085 指定管理料 150,808 <u>その他収入 12,320</u> 合計 169,213 【支出(単位:千円)】 人件費支出 74,306 維持運営費 88,321 <u>事業運営費 6,586</u> 合計 169,213	○	○
	経費節減に向けた取組	最小の経費で最大の効果をもたらせるよう努める。	経費節減に向けた取組の継続を毎月2回開催する幹部会議で徹底している。また、ボランティアや職員が協働で草刈り等の大規模な環境整備を3回実施した他、日常的にも職員が実施するなど、業者発注の回数を縮減した。	◎	◎

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	苦情・要望については、真摯に話を聞き、調査対応にあたる。	来苑者、利用者から寄せられる苦情、要望については、可能な範囲で速やかに対応している。 また、投書箱やアンケートに自由意見や要望を記入できる欄も設けている。 ・トイレの水漏れ →その都度すみやかに修理対応 ・空調の効きが悪い →電力デマンドのコントロールのため、説明、理解を得ている。 ・地元自治会、近隣住民からの溝清掃、草刈、樹木伐採等の要望 →職員で対応できるものは即日対応し、外部委託が必要なものもできるだけ速やかに発注している	◎	◎
	危機管理体制の確保	「丹波の森公苑災害対応マニュアル」「丹波の森公苑消防計画」により対応する。	消防及び避難訓練を年2回実施。	◎	◎
	県・関係機関との連携	県・関係機関と連絡を密にし、双方最新の情報を得るよう対処する。	所管課とは、電話・メールにより頻繁に連絡をとっている。	◎	◎
	業務の再委託の状況	効率性、合理性等の観点から専門的業務を外部に委託する。	設備保守管理 清掃 ホール運営 ホール舞台機構設備保守 機械警備 自家用電気工作物保安管理 電話交換設備保守 エレベーター保守 障害者用昇降設備保守 自動ドア保守 コンピュータネットワーク保守 コンピュータセキュリティー保守 廃棄物処分 除草・樹木伐採	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

地元自治体と地域住民が一体となって、丹波地域づくりの共通理念である「丹波の森構想」を実現するための施設として、丹波の地域づくり、人づくりを推進する事業を展開できている。
大規模修繕工事によりリニューアルし、新たな施設も整備できたことから、幅広い世代が取り組む多様な分野の学習、交流、地域づくり等の活動を支援し、さらなる利用者増に取り組む。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部県民躍動課

施設名	兵庫県立丹波の森公苑	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫丹波の森協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・各項目において、事業計画に基づき、適切に業務が実施されている。
- ・新型コロナウイルスの影響が回復する中、施設の大規模改修などにより、再び休館を要するなど、変則的な運営に対応を要した1年間であった。
- ・施設の管理面では、兵庫県の大規模修繕にあわせて、テニスコート改修や里山スクエアの整備などの各種改修工事を適切に実施したほか、そのような状況下においても、県民が快適に施設を利用できるように事業の実施・施設運営を行った点について、評価ができる。
- ・利用者アンケートにおいても、概ね高い評価をいただいております、その面からも施設の維持管理状態や、利用者へのサービス提供は良好であると考えられる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・多種多様な施設が混在する丹波の森公苑であるからこそ、施設全体の稼働率を上げることはもちろんのこと、各種社会情勢や県民ニーズに応じた事業の展開を行い、各個別施設の稼働率においても上昇を目指していただきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	神戸生活創造センター	現指定管理期間	令和4年～6年(3年間)
指定管理者	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	日常清掃の実施	日常的(開館前、施設利用後の随時)に施設および設備の点検と清掃(消毒含む)を実施した。	◎	◎
	設備保守管理	設備や備品等の日々点検を行い、不具合の早期発見に努める	貸室利用後のチェック時に、部屋の状態や備品状況についても確認をした。 特に、懸案である夏季のキッチンや備品庫の湿度管理には、注意を払い点検に努めた。	◎	◎
	植栽管理	—	—	—	—
	警備	日常巡回等	開館中は、書架整理時や、貸室利用後のチェック時に安全確認や、不審な点がないかチェックしている。 閉館時間中は庁舎機械警備による警備を実施した。	◎	◎
	小規模修繕	設備や備品等の日々点検を行い、不具合の早期発見に努める	貸室利用後のチェック時に、部屋の状態や備品状況についても確認をし、不具合の早期発見に努めた。 また、ギャラリー大型パネルにキャスターをとりつけるなど、利便性向上にも努めた。	◎	◎
	法定点検の実施	—	—	—	—

運営業務	開館日・開館時間等	<p>「設置および管理に関する条例」および協定等に定める内容を遵守し、管理運営を行う。</p> <p>開館時間 月曜日 ~ 土曜日 9:00 ~ 21:00 日曜日・祝日 9:00 ~ 17:30</p> <p>休館日(管理規則第2条の規定による) 毎月第3水曜日、年末年始(最大12月29日~1月3日)</p>	<p>条例に基づく開館時間等を遵守し、自然災害その他の事由による変更の場合は即時に所管課と共有・協議して適切に運営している。</p> <p>【開館時間】 月~土 9時~21時 日・祝 9時~17時30分</p> <p>【休館】 毎月第3水曜日、 12月31日、1月1日</p> <p>【臨時休館】 12月30日、1月2日・3日 (備品整理、設備メンテナンス、蔵書点検)</p> <p>【部分休館】 9月19日 (台風接近の為15時閉館)</p> <p>【時間短縮開館】 1月4日(有料施設のみ開館)</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	<p>設置条例及び管理規則を遵守し、かつ利用者にとって理解しやすく、安心して利用いただけるよう、平等で公平かつ公正な管理運営を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申込受付開始初日は公平を期するため抽選による利用受付を実施した。 ・運用規則および利用規則を遵守、またコロナウイルスの感染拡大も考慮し、柔軟で、すべての利用者に対し、公平で快適な利用環境を提供した。 ・ホームページ、SNS、館内掲示等により、施設利用案内、空室状況等を随時発信した。 ・公の施設を運営する職員に必要な知識・スキルを習得する為、人権研修、ハラスメント防止研修、個人情報保護教育などの各種研修を実施した。 	◎	◎

	<p>各種事業・プログラムの実施状況</p>	<p>① 生活情報の収集・発信</p> <p>② グループ活動支援事業</p> <p>③ 地域との協働事業</p> <p>④ 交流事業</p> <p>⑤ 学習機会の提供</p> <p>⑥ 自主事業</p>	<p>事業計画書に基づく活動支援、協働事業等を確実に実施した。</p> <p>①生活情報の収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書 <ul style="list-style-type: none"> …書籍の計画的な購入、利用者からの寄贈書籍を活用。 …実績(前年比) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書+842冊(106.0%) 貸出+1,982冊(106.7%) 利用者数+18,561名(130.8%) ・発信 <ul style="list-style-type: none"> …情報紙『pipin』毎月4,000部発行。メンバー募集中の登録グループの情報などを掲載。 <p>②活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動セミナー <ul style="list-style-type: none"> …年間32事業530名参加(前年20事業214名 ※内5事業は中止) 当年度新規登録のグループのセミナーを開催(自主上映会、ダンボール授乳室デザイン) <p>③神戸阪神地域との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 『すきっぷサロン』(協力:神戸新聞社) 『子育てひろば きらきら』(協力:区地域子育て担当、区主任児童委員) ・行政関係との協働 『しんながた新鮮市』(共催:県神戸農林振興事務所) 『ながたにこにこマルシェ スイミー』(共催:区自立支援協議会) 『フードドライブ』(県環境政策課) <p>④交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 『すこやかまつり in 尼が咲き2023』(登録グループの布のおもちゃなどの作品を出展) ・登録グループとの協働 	<p>◎</p>	<p>◎</p>
--	------------------------	--	--	----------	----------

			<p>『ZOOMで健康体操』(会場とZOOMのハイブリッド開催) 『布の絵本とおもちゃ展』(手に取ってもらえる絵本やおもちゃを楽しんでもらった)</p> <p>⑤学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共機関連携講座 協力: 県立美術館 『気軽にアート』(特別展に合わせたテーマ計6回) ・登録グループ実践力活用 『自然体験セミナー』 『布ぞうり作り』 ・地域活動者の実践力活用 『小☆中学生わくわくプロジェクト スマブラ・マリカーグランプリ』(ニンテンドースイッチのソフトをEスポーツ形式でスクリーンに投影、オープンな会場で開催。) ・特定の分野への訴求 ・『神戸のんびり読書会』 (参加者がテーマに合ったおすすめの1冊を紹介。) ・『空気の動きで作る絵-モバイルを作ろう-』(厚紙に色を塗り、切り出して、空中に浮かべる作品作り。親子参加で制作後は講師を交え、お茶会を開催。) <p>⑥自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ピラティス教室』(1回1,000円で気軽に参加できる教室) 	
--	--	--	--	--

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	利用者ニーズを的確に把握するため、多方面から利用者の声を獲得する機会を設ける。	事業参加者の満足度および図書コーナーに設定したご意見箱にて利用満足度の調査を行ったが、一部、例年実施している形式での利用者アンケートは期間内では未実施となった。利用者の声を反映する機会の確保としては不十分であった。 【参考】 対象者:グループ活動事業参加者 ()内は前年実績 実施期間:通年 実施回数:22回(14回) 回答数:345(200) 内容の満足度 83% (78%) 実施時間 78% (81%) 説明の明快さ 76% (72%) 声の聞きやすさ 77% (78%) 講師の話し方 75% (77%) ※3段階評価で上位2段階に対する回答割合	×	×
利用状況	利用者数	130,000名 [前年度実績:91,632名]	122,117名(前年+30,485名)	○	○
	施設稼働率	[R4年度目標] ・スタジオ A・B:88.0% ・講座研修室 A/B:62.0% ・キッチン:54.0% ・ギャラリー:68.0% [R3年度実績] ・スタジオ A・B:59.3% ・講座研修室 A/B:26.5% ・キッチン:19.4% ・ギャラリー:60.1% ^d	対前年比では上昇しているものの、ギャラリー以外は目標比に対して下回った。 [R4年度実績] ・スタジオ A・B:71.2%(+11.9) ・講座研修室 A/B:34.8% (+8.3) ・キッチン:31.2%(+11.8) ・ギャラリー:74.7%(+14.6) ※()内は対前年実績値	△	△
	収支計画と実績	[計画(税込:円)] 収入:45,157,000 指定管理料:37,510,000 利用料金:6,327,000 自主事業:607,000 その他:713,000 支出:45,157,000	収入は計画を下回ったが、残業時間の削減等、支出抑制により適正な収支水準となった。 [実績(税込:円)] 収入:43,530,060 指定管理料:37,610,000 利用料金:4,821,950 自主事業:617,700 その他:480,410 支出:43,236,655	○	○

収支状況	経費節減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・適正運用(照明、空調) ・日常点検(設備・備品)による予防保全 	<p>光熱費の上昇で電気代は計画比で+13%、その他セキュリティ対策などの経費が上昇したが、利用状況に応じた、空調管理や、グループのスケールメリットを活かした消耗品調達、その他、経理業務をはじめとする業務の効率化によって不要な残業時間を削減するなどの取り組みで、経費の上昇を抑制している。</p>	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に情報共有、かつ関係各所と協議し、的確に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見や苦情については、即時に所管部署へ報告・相談をし、現場責任者を中心に必要に応じて指定管理者本社がバックアップすることで解決を図った。また、庁舎全体に関する多様なお問い合わせについても庁舎関係各所へ情報提供を行った。 	◎	◎
	危機管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルおよび緊急連絡網、緊急体制の整備 ・避難・防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルは整備されており、随時更新した。 ・庁舎の訓練にも参加し、メンバーで共有し、緊急時の動き、連絡先等を再確認した。連絡フローを事務所内に掲示した。 	◎	◎

	<p>県・関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸・阪神間における県および関係機関とのネットワークの継続 ・新長田周辺の施設や関係機関、各種団体との連携体制の構築 ・運営委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・新長田地域での会議への出席(庁舎地域連携会議、若者応援推進プロジェクト) ・事業連携 <ul style="list-style-type: none"> 県：『新鮮市』(神戸農林振興事務所)、『フードドライブ』(県環境政策課)、『ひょうご安全の日のつどい(中継映像放映)』(県民会議・県防災支援課) 区：『ながたにこにこマルシェ』(区自立支援協議会)、『区アーバニスト・イン・レジデンス成果発表』(区まちづくり課)、『寄せ植え講習会』(区まちづくり課) 神戸野田高校：『ダンボール授乳室デザインワークショップ』(同高美術部) ・情報交換 <ul style="list-style-type: none"> 神戸阪神間の公共施設や地域活動団体との情報交換を随時行い、地域情報、活動支援情報の収集を行った。(市立ふたば学舎、新長田まちづくり(株)、こと・デザイン、芸法、まちラボ、がらす庵) ・運営委員会の開催は未実施となった。 	<p style="text-align: center;">△</p>	<p style="text-align: center;">△</p>
<p>業務の再委託の状況</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

コロナ禍は終息せず、引き続き部屋の定員制限などを設けながらの運営となった。利用者にも利用後の消毒を依頼するなど、センター、利用者一体となって安全かつ快適な環境を維持することができた。グループ活動は、年度後半になるにつれ、少しずつ活発になり、ZOOMを活用した講座なども好評であった。また、昨年グループ登録が実現した隣の神戸野田高校の美術部にも協力を得て、段ボール製の授乳室をデザインする事業を開催し、利用する親子連れにも喜ばれている。同校のインターアクト部の子育て事業へのボランティア参加なども予定するなど連携が深まっていることから、近隣他校へもアプローチを行い、更なる学校園の連携を促進していきたい。

広報面では、商業施設にある区のチラシラックの配架やTwitterでの積極的なPR活動を展開し、センターの認知度向上を図った。共用廊下のチラシラックは、庁舎管理者の許可を得て、休館日も閲覧できるようにし、庁舎内の情報提供の場として機能を拡大できた。

一方で、利用者満足度の調査や、運営委員会の開催などが未実施となったことで、利用者の声を運営業務に活かすことを目的とした事業計画が一部未達になったことを反省し、指定管理者として業務の進捗管理体制を強化することを大きな課題としたい。

次年度は、上記の課題対策として施設と本部機能とのより強固な連携を体制強化の施策として取り組みつつ、施設の利便性や施設価値の向上を目指して事業を推進していく。

【主な取り組み】予約システム導入に伴う利用者へのサポート、コロナ禍に関する社会情勢の変化を踏まえ、フェスタ等、大型交流事業の再開に向けた企画、など。

令和4年度 総合評価シート

評価者：神戸県民センター県民交流室

施設名	神戸生活創造センター	現指定管理期間	令和4年～6年(3年間)
指定管理者	大阪ガスビジネスクリエイティブ株式会社	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

当センターは、神戸・阪神地域における芸術文化、環境、健康、福祉等の様々な分野にわたる県民の主体的な生活創造活動の拠点施設として、毎年10万人以上の利用がある。令和4年度は新型コロナウイルスの感染症による休館等はなく、12万人以上の来館者があり、県民から活動再開に向けた問い合わせが寄せられるなど必要性は高い。令和4年度は、非対面のイベントを実施したり（Zoom等）、若年層グループ（神戸野田高校等）が事業を行ったりと、徐々にコロナ禍での事業対応が見られた。しかしながら、利用者満足度の調査や運営委員会が未実施となり、利用者等のニーズをくみ取る貴重な機会が失われた件については、管理体制に問題があったため、改善策を強く求める。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

新型コロナウイルスの影響により、変則的な運営や利用対応に配慮を要した1年であったが、施設の管理・運営業務全体を通して、迅速な対応と効率的な運営を実現できている点について評価できる。有料施設のうち、スタジオと展示ギャラリーについては稼働率が上昇し、徐々にコロナ前に戻りつつあるが、キッチン及び講座研修室については目標を大きく下回っており、改善に向けた利用促進が求められる。令和5年度から導入される公共施設予約システムが申込の障害とならないように、利用者に寄り添った説明会を実施するとともに、若年層グループとの活動を活発に行い、コロナ前の活気を取り戻す必要がある。

また、利用者等のニーズを事業に反映できるよう、利用者満足度調査を実施するとともに、社会情勢の要請と機能強化を図るために、専門家及び行政等で構成する運営委員会を実施し、管理運営の更なる改善・強化に努める必要がある。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立嬉野台生涯教育センター	現指定管理期間	令和2～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	利用者に快適な環境を提供するため、点検及び清掃を徹底する。	委託業者により日常清掃(館内、館外)、定期清掃(ワックス掛け等)作業を実施し、快適な環境維持に努めた。	◎	◎
	設備保守管理	利用者の安全確保のため、施設整備及び設備保守を行い、維持管理に努める	委託業者により、浄化槽、空調、消防設備等について、施設利用に支障のないよう定期点検を実施した。	◎	◎
	植栽管理	敷地内の樹木の管理及び雑草等の管理を適切に行う。	業者による剪定及び清掃職員による雑草駆除、職員による草刈りを複数回実施した。	◎	◎
	警備	利用者の安全確保のため、施設内の巡視や施錠の徹底を行う。	職員による巡視に加え、館内出入口に機械警備を取り入れ、利用者の安全確保に取り組んでいる。	◎	◎
	小規模修繕	利用者の利便性・安全性・快適性を確保するため、現状の把握及び迅速な対応に努める	成人宿泊棟身障者用トイレ改修、リーダー管理棟給水送水管他修繕等を行った。	◎	◎
	法定点検の実施	浄化槽 11 条検査 年 1 回 簡易専用水道検査 年 1 回 消防設備点検 年 2 回 防火対象物点検 年 1 回	計画通りに実施した。	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	・休館日 12 月 30 日～ 1 月 2 日 ・開館時間 午前 9 時～ 午後 9 時	計画通り開館した。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	県民に対して、公平に利用いただくため、受付業務の透明化に努める。	パンフレットを更新し広報活動を行うとともに、誰にでも公平でわかりやすいきめ細やかな対応に心掛けている。	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	<p>【指定管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしの春のフェスティバル ・HAPセミナー・講習会 ・野外活動指導者講座 ・兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成講座 ・全県野外フォーラム <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしの学園生涯大学(4年制、大学院) ・うれしの台ユースセミナー ・HAP活動支援事業 	新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったうえで、計画通り実施した。	◎	◎																																								
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者へアンケートを実施し、利用満足度を調査することにより、事業計画や施設運営に、役立てる。	<p>実施期間:令和4年10月1日～令和4年12月28日</p> <p>【活動内容の集計結果】</p> <table border="0"> <tr><td>満足</td><td>60%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>25%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>3%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td></tr> <tr><td>回答なし</td><td>12%</td></tr> </table>	満足	60%	やや満足	25%	やや不満	3%	不満	0%	回答なし	12%	○	○																														
満足	60%																																												
やや満足	25%																																												
やや不満	3%																																												
不満	0%																																												
回答なし	12%																																												
利用状況	利用者数	<p>利用者数、施設稼働率の増加に努める。</p> <p>[前年度:67,745人]</p> <p>【内訳】(人)</p> <table border="0"> <tr><td>本館研修室等</td><td>14,342</td></tr> <tr><td>講堂・視聴覚室</td><td>8,056</td></tr> <tr><td>体育館</td><td>10,505</td></tr> <tr><td>スポーツ広場</td><td>8,764</td></tr> <tr><td>テニスコート</td><td>2,834</td></tr> <tr><td>体験学習棟</td><td>1,960</td></tr> <tr><td>キャンプ場</td><td>3,801</td></tr> <tr><td>生活創造プラザ</td><td>8,040</td></tr> <tr><td>青少年宿泊棟</td><td>7,434</td></tr> <tr><td>成人宿泊棟</td><td>2,009</td></tr> </table>	本館研修室等	14,342	講堂・視聴覚室	8,056	体育館	10,505	スポーツ広場	8,764	テニスコート	2,834	体験学習棟	1,960	キャンプ場	3,801	生活創造プラザ	8,040	青少年宿泊棟	7,434	成人宿泊棟	2,009	<p>R4年度 98,251人</p> <p>【内訳】(人)</p> <table border="0"> <tr><td>本館研修室等</td><td>14,429</td></tr> <tr><td>講堂・視聴覚室</td><td>9,958</td></tr> <tr><td>体育館</td><td>13,427</td></tr> <tr><td>スポーツ広場</td><td>10,728</td></tr> <tr><td>テニスコート</td><td>3,560</td></tr> <tr><td>体験学習棟</td><td>3,951</td></tr> <tr><td>キャンプ場</td><td>10,695</td></tr> <tr><td>生活創造プラザ</td><td>11,190</td></tr> <tr><td>青少年宿泊棟</td><td>16,593</td></tr> <tr><td>成人宿泊棟</td><td>3,720</td></tr> </table>	本館研修室等	14,429	講堂・視聴覚室	9,958	体育館	13,427	スポーツ広場	10,728	テニスコート	3,560	体験学習棟	3,951	キャンプ場	10,695	生活創造プラザ	11,190	青少年宿泊棟	16,593	成人宿泊棟	3,720	○	○
本館研修室等	14,342																																												
講堂・視聴覚室	8,056																																												
体育館	10,505																																												
スポーツ広場	8,764																																												
テニスコート	2,834																																												
体験学習棟	1,960																																												
キャンプ場	3,801																																												
生活創造プラザ	8,040																																												
青少年宿泊棟	7,434																																												
成人宿泊棟	2,009																																												
本館研修室等	14,429																																												
講堂・視聴覚室	9,958																																												
体育館	13,427																																												
スポーツ広場	10,728																																												
テニスコート	3,560																																												
体験学習棟	3,951																																												
キャンプ場	10,695																																												
生活創造プラザ	11,190																																												
青少年宿泊棟	16,593																																												
成人宿泊棟	3,720																																												

	施設稼働率	<p>利用者数、施設稼働率の増加に努める。</p> <p>[前年度:12.7%] 【内訳】(%)</p> <table border="0"> <tr><td>本館研修室等</td><td>7.7</td></tr> <tr><td>講堂・視聴覚室</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>体育館</td><td>29.3</td></tr> <tr><td>スポーツ広場</td><td>11.6</td></tr> <tr><td>テニスコート</td><td>22.4</td></tr> <tr><td>体験学習棟</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>キャンプ場</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>青少年宿泊棟</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>成人宿泊棟</td><td>11.6</td></tr> </table>	本館研修室等	7.7	講堂・視聴覚室	9.1	体育館	29.3	スポーツ広場	11.6	テニスコート	22.4	体験学習棟	5.8	キャンプ場	11.5	青少年宿泊棟	5.6	成人宿泊棟	11.6	<p>R4年度 17.3%</p> <p>【内訳】(%)</p> <table border="0"> <tr><td>本館研修室等</td><td>8.1</td></tr> <tr><td>講堂・視聴覚室</td><td>11.6</td></tr> <tr><td>体育館</td><td>27.3</td></tr> <tr><td>スポーツ広場</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>テニスコート</td><td>29.3</td></tr> <tr><td>体験学習棟</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>キャンプ場</td><td>22.2</td></tr> <tr><td>青少年宿泊棟</td><td>12.9</td></tr> <tr><td>成人宿泊棟</td><td>20.5</td></tr> </table>	本館研修室等	8.1	講堂・視聴覚室	11.6	体育館	27.3	スポーツ広場	13.0	テニスコート	29.3	体験学習棟	11.4	キャンプ場	22.2	青少年宿泊棟	12.9	成人宿泊棟	20.5	○	○		
本館研修室等	7.7																																										
講堂・視聴覚室	9.1																																										
体育館	29.3																																										
スポーツ広場	11.6																																										
テニスコート	22.4																																										
体験学習棟	5.8																																										
キャンプ場	11.5																																										
青少年宿泊棟	5.6																																										
成人宿泊棟	11.6																																										
本館研修室等	8.1																																										
講堂・視聴覚室	11.6																																										
体育館	27.3																																										
スポーツ広場	13.0																																										
テニスコート	29.3																																										
体験学習棟	11.4																																										
キャンプ場	22.2																																										
青少年宿泊棟	12.9																																										
成人宿泊棟	20.5																																										
収支状況	収支計画と実績	<p>収支計画(単位 千円)</p> <p><収入></p> <table border="0"> <tr><td>施設利用収入</td><td>15,345</td></tr> <tr><td>補助金等収入</td><td>119,160</td></tr> <tr><td colspan="2">(うち指定管理料: 95,326)</td></tr> <tr><td>負担金収入</td><td>2,275</td></tr> <tr><td>収入計</td><td>136,780</td></tr> </table> <p><支出></p> <table border="0"> <tr><td>管理受託事業</td><td>112,996</td></tr> <tr><td>自主事業</td><td>22,552</td></tr> <tr><td>補助事業</td><td>1,232</td></tr> <tr><td>支出計</td><td>136,780</td></tr> </table>	施設利用収入	15,345	補助金等収入	119,160	(うち指定管理料: 95,326)		負担金収入	2,275	収入計	136,780	管理受託事業	112,996	自主事業	22,552	補助事業	1,232	支出計	136,780	<p>収支実績(単位 千円)</p> <p><収入></p> <table border="0"> <tr><td>施設利用収入</td><td>11,981</td></tr> <tr><td>補助金等収入</td><td>126,923</td></tr> <tr><td colspan="2">(うち指定管理料: 102,773)</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>84</td></tr> <tr><td>負担金収入</td><td>1,725</td></tr> <tr><td>収入計</td><td>140,713</td></tr> </table> <p><支出></p> <table border="0"> <tr><td>管理受託事業</td><td>120,332</td></tr> <tr><td>自主事業</td><td>14,561</td></tr> <tr><td>補助事業</td><td>775</td></tr> <tr><td>支出計</td><td>135,668</td></tr> </table>	施設利用収入	11,981	補助金等収入	126,923	(うち指定管理料: 102,773)		寄付金	84	負担金収入	1,725	収入計	140,713	管理受託事業	120,332	自主事業	14,561	補助事業	775	支出計	135,668	○	△
	施設利用収入	15,345																																									
補助金等収入	119,160																																										
(うち指定管理料: 95,326)																																											
負担金収入	2,275																																										
収入計	136,780																																										
管理受託事業	112,996																																										
自主事業	22,552																																										
補助事業	1,232																																										
支出計	136,780																																										
施設利用収入	11,981																																										
補助金等収入	126,923																																										
(うち指定管理料: 102,773)																																											
寄付金	84																																										
負担金収入	1,725																																										
収入計	140,713																																										
管理受託事業	120,332																																										
自主事業	14,561																																										
補助事業	775																																										
支出計	135,668																																										
	経費節減に向けた取組	経費を節減しつつ効果を得られるよう創意工夫を行う。	委託業務に係る設備保守点検及び清掃業務等において、必要最低限の業務内容とし、経費節減に努めた。	◎	◎																																						
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者の個々の状況を把握し、適切な対応に努める。	<p>【要望】</p> <p>成人食堂が利用できるようにしてほしい。</p> <p>【対応】</p> <p>利用しやすくなるよう成人食堂のあり方を検討してく。</p>	○	○																																						
	危機管理体制の確保	危機管理マニュアル、職員連絡網を作成するとともに、消防訓練、避難誘導訓練を行う。	計画通り、マニュアル等を作成し、消防訓練、避難誘導訓練を行った。	◎	◎																																						
	県・関係機関との連携	生涯学習の拠点施設として、各機関との連携を強化する。	教育機関や文化団体等の関係機関との連携を密にし、拠点施設としての役割に努める。	◎	◎																																						

	業務の再委託の状況	施設管理に関する業務の一部を委託する。	【再委託の内容】 ・汚水処理浄化槽維持管理業務 ・清掃業務 ・空調機器保守点検整備業務 ・自家用電気工作物保安業務及びテナント監視業務 ・一般廃棄物処理業務 ・エレベーター保守管理業務 ・消防設備点検及び保守業務 ・夜間等機械警備業務	◎	◎
--	-----------	---------------------	--	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

概ね計画通りに実施することができたと考える。
 また、アンケートから、利用者からは概ね満足いただけていると思われる。
 今後の課題は、コロナ禍が終わって利用者の増加に伴い問題（施設の老朽化による緊急修繕等）も増加すると考えられるため柔軟な対応が必要となる。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部県民躍動課

施設名	兵庫県立嬉野台生涯教育センター	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・それぞれの項目において、事業計画に基づき適切に業務が実施されている。
- ・施設の管理・運営業務全体を通して、県民が快適に利用できるよう迅速な対応と効率的な運用が実現できた点について評価できる。
- ・利用者アンケートにおいても、概ね高い評価を得ており、施設の維持管理状態や利用者へのサービス提供は良好と考えられる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・前年度に比べると利用者数・稼働率は増加しているが、全体の稼働率を見ると、高いとは言えない数字であるため、ニーズを踏まえた利用者の確保に積極的に取り組む必要がある。
- ・引き続き、施設のPRや多様な事業の実施に努めるとともに、効率的・効果的な運営を図るよう指導した。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和 4 年度 管理運営評価シート

施設名	東播磨生活創造センター「かこむ」	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(特非)シミズシズ	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理 者	施設 所管 課
維持 管理 業務	清掃	有料施設及び無料施設の 日常清掃を最低限1日1 回実施する	<p><開館中の実施> 有料施設・無料施設の点検、清掃は、施設利用時に都度、行っている。フリースペース等の不特定多数が利用する施設は、職員での除菌・清掃をはじめ、利用者が除菌・清掃できるよう掃除道具一式を配置しており、利用者への清掃・感染症予防の協力を促している。</p> <p><閉館後の実施> 施設の戸締まり、忘れ物確認、情報コーナー、フリースペースの清掃と消毒作業、最終点検を実施している。職員による点検を1日1回以上行い、利用者も含めた清掃を行うことで安全に利用できる施設整備に取り組んでいる。12月には創作工房Aの食器類を全て洗浄・漂白を実施した。</p> <p><その他> 1階の窓ガラスを県職員・スタッフ・県民と協力して清掃を行った。</p>	◎	◎
	設備 保守 管理	劣化や危険な箇所がない か等、日常的に巡視	<p><随時> 窓口で利用者の声の聞き取りをはじめ、連絡ノートを活用し、日々の改善に取り組んでいる。設備、備品の利用状況も確認しており、定期点検を実施。指定管理者として、利用者との連絡手段を工夫し、常時利用者が安全に利用できる維持管理を継続して行なった。</p> <p>設備保守管理は、県民局担当課との定例会議を設けており、速やかな情報共有と報告を行い、保守管理の徹底に努めている。</p> <p><年間> 施設利用者を対象に、年1回の利用状況アンケートを実施し、その結果を県民局担当課にも報告し、改善策を協議している。</p>	○	○
	植栽 管理	—	—	—	—

	警備	安全巡視、緊急時における連絡及び対応体制を整備。	<p><体制整備> 通常時やイベント時における緊急時の相談、報告の連絡体制を整備している。また、緊急時や災害時などを想定し曜日ごとに運営責任者を常駐する体制をとり、職員向けの緊急時マニュアルを都度更新して共有している。</p> <p><職員研修> 開館中は安全巡視、定期パトロールを実施。消火機器の点検や避難経路の確保、防火シャッターや消火栓が機能する確認を行なった。</p>	○	○
	小規模修繕	施設の不備を確認した際には速やかに修繕に対応	<p><備品修繕> 講座研修室机、椅子、マイクスタンド、譜面台など、軽微な修繕、備品修理を実施している。また、利用者より寄贈による代替品の提供を募り、コストを削減しながら、備品の調整を行なっている。</p>	◎	◎
	法定点検の実施	—	—	—	—
運営業務	開館日・開館時間等	<p>開館日:1月2日~12月30日、(ただし、毎月第3日曜日は休館)</p> <p>開館時間:9時~21時(ただし、日・祝は9時~17時30分)</p>	<p><基礎運営> 開館時間については、社会的意義や地域の役割をふまえ、可能な限り利用者の実態に即して対応。休館日には職員研修を実施している。</p> <p><コロナ対応> 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言発令を受け、兵庫県の方針に従い迅速に対応した。また利用者への混乱を避けるため、簡潔で迅速な情報発信を行い、利用者目線を心掛けた寄り添った対応を行った。</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	<p>・法令を遵守した公平公正な運営</p> <p>・情報公開による開かれた運営</p>	<p><法令遵守> 関係法令を順守した運営に努めた。施設予約においては、公開抽選を行い、公平・公正な施設利用ができるよう工夫している。</p> <p><情報公開> 利用規則を遵守し、利用者に向けて案内及びお知らせとして情報開示を行なった。窓口案内、館内掲示、ホームページによる情報発信手段を活用。全ての利用者に対し公平な運営に努めた。</p> <p><その他 公平な運営> 幅広い年齢層の利用者が利用できるよう、「対面・電話・ホームページ」の申込方法を設けることで、利用の機会を公平に提供することを心掛けた。ホームページからの申込みに対しては、申込時間と確認時間での差異が発生しないよう、定期的に申込み有無の確認をし、他の申込方法と差異がうまれないよう対応処理を工夫している。</p>	◎	◎

<p>各種事業・プログラムの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーの運営 ・グループ活動支援 ・学習機会の提供 ・協働事業 ・自主事業 	<p><情報コーナーの運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌の発行:年4回 / 13,700部 (前年実績 12,044部 前年差 1,656部) ・ホームページでの情報提供:143件 (前年実績 147件 前年差 +4件) ・チラシ配架件数:1,720件 ・図書等の貸出件数:1,364件 ・寄贈本数:1,104冊 <p><グループ活動支援 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・kaco-LAB.の登録団体:団体 326 団体 (内訳) 地域活動団体:298 団体、クリエイター20 団体、企業 8 団体(前年実績 333 団体 前年差 ▲7 団体) ・相談件数:76,111 件 (前年実績 76,403 件 前年差 ▲292 件) ・コーディネート件数:73 件 (前年実績 98 件 前年差 ▲25 件) ・多目的パフォーマンススペース運営:196 回 (前年実績 110 回 前年差+29 回) ・交流事業の実施:226 回 (前年実績 146 回 前年差+80 回) ・kaco-LAB.フェス 2022 の開催:参加者名 953 名(出展 38 団体) <p><学習機会の提供業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座、セミナー等の開催:73 回/956 名 (前年実績 144 回/691 名 前年差▲71 回/261 名) ・地域リーダーの人材育成事業:174 回/622 名 (前年実績 13 回/92 名 前年差+161 回/+530 名) ・ボランティアの登録:22 名 (前年実績 36 名 前年差▲14 名) ・かこむ審議会/年 1 回実施 <p>他府・他市の施設の事例をご紹介頂き、有識者のみなさまと今後の運営に関して意見交換を行った。(会場・オンラインをあわせたハイブリッド開催)</p> <p><協働事業の企画・実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的パフォーマンススペースを活用した会場活用の協力として、シニア交流サロンを行った。 ・地元コミュニティラジオとの協働:41 回 (前年実績 44 回 前年差▲3 回) ・トライやるウィーク、インターン、職業訓練等の受入 20 回/37 名 (前年実績 15 回/23 名 前年差 5 回/14 名) <p><自主事業の企画・実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動をサポートする講座、セミナー等の開催:8 回/114 名 ・活動やイベントの実施サポートとしてイベントの受付代行 6 件、チラシ発送 32 件、会場設営サポート 6 件に対応した。 	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>
------------------------	---	---	------------	------------

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	利用者を対象とした満足度アンケート調査を年1回実施	<p><アンケート結果> 実施期間:11月21日~12月21日 (第3日曜日を除く開館日数:30日間)</p> <p>回収枚数:984枚 (前年度実績861枚+123枚)</p> <p><アンケート結果> 総合評価 ・非常に満足、満足:98.4% 施設の清掃に関する満足度 ・非常に満足、満足:94.5% スタッフ対応に関する満足度 ・非常に親切、親切:95.2% 利用後の関係に関する調査 ・挨拶する程度の知り合いが増えた:11.1% ・よく話す知り合いが増えた:10.3% ・一緒に活動する友達・知り合いが増えた:28.9%</p> <p>その他、かこむ主催事業について、コロナ禍における施設運営についてなどの調査項目を設けて、事業に関するアンケートにも取り組んだ。</p>	◎	◎
利用状況	利用者数	— 【R3年度:56,310人】	利用者数180,311人 部屋の利用人数制限もなく利用ができるようになったため有料施設の利用人数が増加、フリースペースや、イベントスペースの利用も回復したため令和3年度より24,001人の利用者数増加となった。	◎	◎
	施設稼働率	70% 【令和3年度:64.1%】	稼働率70.1% 利用自粛者の減少、新規利用者の増加があり、利用率が令和3年度より6%増加した。	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	<p>収支計画</p> <p><収入> 合計:36,754千円 指定管理料:26,154千円 利用料収入:9,000千円 自主事業収入:1,600千円</p> <p><支出> 合計:36,754千円 人件費:27,935千円 事業費:1,460千円 維持管理費:2,240千円 事務費:1,778千円 消費税:3,341千円</p>	<p>実績</p> <p><収入> 合計:38,664千円 指定管理料:27,654千円 利用料収入:9,768千円 自主事業収入:1,241千円 その他:111千円</p> <p><支出> 合計:38,664千円 人件費:27,129千円 事業費:1,702千円 維持管理費:4,629千円 事務費:2,491千円 消費税:2,712千円</p>	○	○
	経費節減に向けた取組	利用者からの寄贈を含めた備品管理	利用者からの多数の備品消耗品の寄贈の受け入れや、ボランティアによる施設修繕にも取り組んでいる。	◎	◎

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>苦情と改善策を職員間で共有。庁舎全体に関する苦情には県担当課へ報告</p>	<p><年間> 施設利用者に向けた利用状況アンケート集計を年 1 回実施。</p> <p><随時> 窓口での利用者の声の聞き取りを実施。連絡ノートを活用し、苦情や要望、利用者の声を把握している。また、職員間での運営ツールを活用して情報を蓄積して管理、対応している。指定管理者として解決できる苦情・要望・利用者の声については、速やかに対応、対策を講じている。</p> <p>苦情、利用者の声及び対応はデータで集約し、県民局担当課と報告相談を行った上で、迅速な対応に努めている。利用規則や設備に関しての声も同様に、県民局担当課と協議、検討する対応を実施した。</p>	◎	◎
	危機管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に向けた安全管理の徹底 ・防犯や災害、緊急時の際の対策を講じる。 	<p>開館中は安全巡視、定期パトロールを実施している。運営スタッフ内における緊急マニュアルの共有も行なっている。また、管理責任者、副責任者は庁内消防訓練に参加し、研修内において避難経路など誘導手順の確認を行なった。施設内における災害事故対策マニュアルも設置している。</p> <p>緊急マニュアルを更新し、迅速に対応できるよう危機管理体制を整えている。施設責任者、副責任者を対象に消防訓練の参加を必須とし避難経路の確認、消火設備の点検を行い、防火シャッター下・消火設備周辺には物を配置しないことを徹底し、万全の処置を講じている。</p>	◎	◎
	県・関係機関との連携	<p><月間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会(12 回実施)の開催。 <p>所轄課である東播磨県民局地域振興室と月 1 回の定例会を開催</p> <p><年間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会(1 回実施) <p>関係機関等の連携では、年 1 回の審議会を開催、地域の大学、企業の有識者を交え施設運営に関する意見交換の機会を設ける</p>	<p>県民局担当課との定例会(12 回実施)の開催。所轄課である東播磨県民局地域振興室と月 1 回の定例会において、運営の意見交換及び情報共有、検討事項などの協議を実施している。</p> <p>審議会は、企業、NPO、教育機関、近隣施設などセクターの垣根を超えた幅広い視点から事例共有、助言を頂き施設運営に役立てた。</p>	◎	◎
	業務の再委託の状況		<p>2 件の再委託契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設予約管理システム(株式会社エイ・エス・ビー) ・ホームページの保守管理(NPO のための IT 支援事務所 ht) 	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和4年度はコンセプトに掲げる「新しい自分と出会える施設」の実現に向け、コロナ禍で少なくなっていた「つながり」をもつことができる企画を積極的に行なった。団体同士が定期的に情報交換できるサロンの開催をはじめ、若年層に向けた地元情報冊子を作成し、東播磨での新しい自分と出会える生き方や働き方のPRに取り組んだ。

施設でのアンケートでは、施設に関して「非常に満足」と「満足」を総合すると98.4%なり、昨年度に引き続き高い評価を頂き、約3割の来場者が、本施設で知り合いが増えた、見つかったと回答いただいている。職員同士が単に受付や接客だけでなく、コーディネーターとして「つなげる」ことができるよう意識の徹底や研修を行った成果といえる。今後も高い水準を維持し、団体同士の「つながり」が生まれる場所として広がるようコーディネートに取り組んでいきたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：東播磨県民局地域振興室

施設名	東播磨生活創造センター	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(特非)シミズシーズ	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・ 令和2年度から3年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響から、利用者数や稼働率が落ち込んでいたが、令和4年度は、コロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあり、懸念されていた利用者離れを食い止めることができている。
- ・ 利用者アンケートの結果では、スタッフの対応や、総合的な満足度について、高い評価を獲得しており、今後も良質な県民へのサービスが期待できる。
- ・ 運営体制については、適正なスタッフを配置するほか、多くのボランティアを巻き込むことで、運営を効率化させ、かつ地域活動の活性化も促している。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

利用料金収入は回復したものの、光熱費の高騰などから、法人負担が発生しており、安定した運営のためには、自主事業の充実などによる収入の確保、事務事業の改善・効率化等による支出の引き締めを引き続き進める必要がある。

県としては、定例会（毎月1回）等を通じ、引き続き必要な指導、監督に努めるとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報、アンケート実施などの取り組みを求めていく。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立但馬文教府	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	施設全体・敷地内の日常清掃・定期清掃(床・窓ガラスなど)を行う	日常清掃(週5日)、定期清掃(Pタイル・木床部・ワックス塗布、カーペット部洗浄、窓ガラス拭き、体育館ワックス塗布年1回)	◎	◎
	設備保守管理	施設全体の電気・消防等の保守並びに衛生管理を行う	消防設備点検(年2回)、自家用電気工作物点検(毎月)、防火対象物点検(年1回)、防虫駆除(薬剤散布年2回)	◎	◎
	植栽管理	施設全体・敷地内の植栽管理を行う	樹木剪定、草刈り等	◎	◎
	警備	施設全体の警備及び駐車場管理を行う	機械警備(通年) 集客行事開催時は職員による駐車場案内・整理を実施	◎	◎
	小規模修繕	財産等について必要な修繕(大規模改修を除く)を行う。	樹木伐採除去、空調機器修繕等	◎	◎
	法定点検の実施	法律で定められた点検を実施	消防設備点検・小規模貯水槽水道定期検査	◎	◎
運 営 業 務	開館日・開館時間等	休館日(12月29日から1月3日まで)を除く9時から21時まで	左のとおり実施している。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	正当な理由がない限り、施設を利用することを拒んではならない。また、施設を利用することについて、不当な差別的扱いを行わない。	施設利用の基準等に照らしながら、左のとおり実行している。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業の実施 ・生活創造・地域づくり活動の支援 ・生涯学習の支援 ・地域文化の振興 ・情報の収集と提供 	<p>【指定管理業務】4年生大学講座年26回、大学院講座年21回、地域公開講座開催、展示事業年26回開催、但馬文庫の運営、ホームページの運営</p> <p>【自主事業】2022 親子フェスタ、科学する但馬の子ども作品展、小・中学生の作文・詩集、但馬文学のつどい、但馬歴史講演会、等</p>	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	定期的に利用者からの意見聴取や満足度等の把握を行う。	利用者アンケート調査 調査時期 令和4年11月1日～12月28日 調査内容 利用施設・目的・ 動機・満足度・要望等 回答数 185件 結果概要 満足度については各項目とも「大いに満足」「少し満足」「普通」がほとんどを占めており、「少し不満」が若干あったが「大変不満」はなかった。	◎	◎
利用状況	利用者数	利用者数、施設稼働率の増加に努める。 [前年度:76,583人]	今年度は70,864人で、利用者数は若干の減となった。	◎	○
	施設稼働率	利用者数、施設稼働率の増加に努める。 [前年度] 体育館:68.5% 会議室:20.3% 第1研修室:29.3% 第2研修室:12.5% ふるさと交流館:32.7%	稼働率はおおむね若干の増だった。 体育館:69.8% 会議室:21.2% 第1研修室:32.6% 第2研修室:14.2% ふるさと交流館:30.9%	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	(収入) 利用料金収入 2,051,364円	(収入) 利用料金収入 2,214,670円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	・節電 ・簡易な修繕の直営実施 ・借上げ機器の再リース等	・節電…電化製品待機電力削減、空調の時間差起動、デマンド監視によるピークカット ・直営実施…植栽剪定・除草、除雪 ・印刷機の再リース ・ETC割引による有料道路通行料金節減	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	県民からの苦情・要望については、県民の立場に立った親切的な対応に心がけるとともに、責任をもって、迅速に処理する。	特に大きな苦情はなく、個別の要望についてはその都度対応した。	◎	◎
	危機管理体制の確保	事故、急病・けが、事件等が起こった場合に、適切かつ速やかな対応を行うため、予め事故対応マニュアルを策定する	消防計画、警備及び防災計画等のマニュアルを作成し、職員に周知するとともに、消防設備の自主点検を行った。	◎	◎

	県・関係機関との連携	県・関係機関との連絡調整を十分に行い、適切で迅速な対応を行う。	事業や施設運営上必要な連絡・報告・協議等を県や関係機関と緊密に行うとともに、関係機関の連絡先や緊急時における連絡先・方法を職員に周知している。	◎	◎
	業務の再委託の状況	施設管理に関する業務の一部を委託する。	庁舎清掃業務 庁舎機械警備業務 自家用電気工作物保安管理 消防設備点検保守 ごみ処理業務 デマンド監視業務 庁舎防虫駆除管理業務 飲料水貯水槽清掃業務 簡易専用水道定期検査業務 敷地内駐車場除雪業務	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

施設維持管理、運營業務については、突発的な事象も含め、適切に実施できている。周辺地域への PR 活動等を積極的に行っている。利用状況については、ふるさと交流館の利用開始に伴い、新規利用者の増加がみられる。今後も広報の充実、新規利用者の確保に努めてゆく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部県民躍動課

施設名	兵庫県立但馬文教府	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・それぞれの項目において、事業計画に基づいて適切に実施されている。
- ・施設の周辺地域への積極的なPRと日常の清掃・点検が適切にされ、利用者の安全面に配慮した利用環境を確保できていることが、利用者数の確保につながっている。
- ・利用者アンケートにおいても、概ね高い評価を得ており、施設の維持管理状態や利用者へのサービス提供は良好である。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・引き続き、施設のPRや多様な事業の実施に努めるとともに、効率的・効果的な運営を図るよう指導した。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	S	S		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立西播磨文化会館	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持管理業務	清掃	施設全体・敷地内の日常清掃・定期清掃(床・窓ガラスなど)	業務委託により、フロアワックス、窓ガラス清掃、日常清掃を確実に実施できた	◎	◎
	設備保守管理	施設全体の空調・電気・ガス・消防・昇降設備等の運転・保守並びに水質・防虫等の衛生管理を行う	自家用電気設備月1回点検、空調設備のメンテナンス、消防設備機器点検及び修繕を行った	◎	◎
	植栽管理	樹木、芝生、草花の剪定、病虫害防除等	職員作業による芝生管理(散水・芝刈り)樹木剪定を実施し日常管理を行った	◎	◎
	警備	施設全体の警備及び駐車場管理を行う	施設は機械警備業務委託により警備イベント等の開催日は駐車場案内員を配置するなど、適切な警備体制により、来館者の安全確保に努めた	◎	◎
	小規模修繕	財産等について必要な修繕を行う	樹木の枯枝伐採や避難口誘導灯の取替を行った危険な状態を取り除き、安全で快適な施設維持に努めた	○	○
	法定点検の実施	法令等に基づき定期点検等を適正に行う	消防設備機器点検・機器総合点検、受水槽清掃及び水質検査を適正に実施した	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	9時から21時まで 休館日(12月29日から1月3日)を除く	左記以外の対応として大雪警報発令にともなう休館:1月25日	◎	◎
	公共性・公平性の確保	正当な理由がない限り、施設を利用することを拒んではならない。また、施設を利用することについて、不当な差別的取り扱いを行わない	会館利用者が利用しやすい環境を整え、公共性・公平性を確保した運営を行うことができた	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	文化的行事の開催。社会教育及び学校教育に関する講座の開設。講習会、講演会、展示会の開催等。機関誌清流発行。ホームページ運営。	【指定管理業務】 4年制大学講座開講年間27回、2年制大学院講座開講22回、地域公開講座開催等、事業計画に基づき実施することができた 【自主事業】 地域の各種団体等と協働して、西播磨ふるさと文化祭や播磨「歴史・地域学」講座、オンラインによる生涯学習講座を開催することにより、伝統文化等に関する学びや活動の機会を提供した	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)		令和4年10月に1回、会館利用者へアンケート用紙を配布し調査を行った。使いやすさ、職員対応についてはともに90%以上が満足との回答であった	◎	○
利用状況	利用者数	前年度増 [前年度:63,602人]	90,876人	◎	○
	施設稼働率	前年度増 令和3年度実績 講堂:17.9% 会議室等:9.6% 美術展示室:23.8% 体育館:36.0% 運動場 23.3% 等 [平均:11.6%]	令和4年度実績 講堂:14.2% 会議室等:7.9% 美術展示室:30.8% 体育館:37.1% 運動場:25.7% 等 [平均:16.5%]	◎	○
収支状況	収支計画と実績	【当初予算】 収入 46,778,000円 内訳(指定管理料等収入43,904,000円、施設使用料収入1,572,000円、その他収入1,302,000円) 支出 46,778,000円	収入 52,081,523円 内訳(指定管理料等収入48,007,000円、施設使用料収入1,540,820円、その他収入2,533,703円) 支出 52,081,523円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	節電の徹底	使用していない部屋の電灯やエアコンの電源を切る等節電の徹底に取り組んだ また、軽微な修繕等は職員で対応することで経費削減につなげた	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者からの苦情については、担当者だけで終わらせず、館の問題として職員全体で解決を図る	苦情・要望への対応状況等について、ホームページに掲載し周知している	◎	◎

危機管理体制の確保	事故、急病・けが、事件等が起こった場合に、適切かつ速やかな対応を行うため、予め事故対策マニュアルを策定する	消防訓練を年2回実施した職員連絡網・災害時職員行動マニュアルを作成・配布した	◎	◎
県・関係機関との連携	県との連絡調整を十分に図り、適切かつ迅速な対応を行う	協会本部を通じた連絡調整だけでなく、定期的に西播磨県民局の連絡会議に出席するなど情報交換・連携に努めている	◎	◎
業務の再委託の状況		複合機保守、複合機リース、機械警備、自家用電気工作物保安管理、消防設備保守点検、一般廃棄物処理、昇降機保守点検、建物等清掃	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

業務計画・目標に沿い、概ね計画通りに会館運営を行うことができた。
 会館利用状況は、新型コロナウイルス感染症流行期と比較すると回復しているが、利用者アンケートの満足度が令和3年度と比較するとやや下落したため、満足度の向上が課題である。
 令和5年度は、利用状況のさらなる回復と満足度の向上のため、より利用しやすく開かれた施設となるよう、事業や施設設備の充実化を図る。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部県民躍動課

施設名	兵庫県立西播磨文化会館	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・業務計画に沿い、概ね計画通りに会館運営を行うことが出来た。
- ・利用しやすい環境作りに努め、施設維持・運営業務を行うことが出来た。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・それぞれの項目において、事業計画に基づき適切に業務が実施されている。
- ・前年度に比べると利用者数・稼働率は増加しているが、全体の稼働率を見ると、高いとは言えない数字であるため、ニーズを踏まえた利用者の確保に積極的に取り組む必要がある。
- ・引き続き、施設の PR や多様な事業の実施に努めるとともに、効率的・効果的な運営を図るよう指導した。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県立淡路文化会館	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理 者	施設 所管 課
維持 管理 業務	清掃	施設全体の日常清掃・定期清掃(床・窓ガラスなど)を行う。 [業務仕様書 第3-3-(4)]	日常清掃は、土曜・日曜・祝日を除く週5日実施。 定期清掃は、ワックス掛け、ガラスクリーニングを実施した。	◎	◎
	設備保守管理	施設全体の空調・電気・ガス・消防等の運転・保守並びに空気環境・水質・防虫等衛生管理を行う。 [業務仕様書 第3-3-(2)]	業者委託により、電気設備・消防・水質・防虫等の定期点検を実施した。	◎	◎
	植栽管理	施設全体の植栽管理を行う。 [業務仕様書 第3-3-(4)]	除草・植栽の一部の作業は、シルバー人材センター等に委託し、実施した。 また、高齢者大学の受講生による自治会活動により美化活動を実施した。	◎	◎
	警備	施設全体の警備及び駐車場管理を行う。 [業務仕様書 第3-3-(5)]	休館日、夜間について、機械警備により警備会社に業務委託した。	◎	◎
	小規模修繕	建物を管理し、施設が安全に利用できるように努める。 [業務仕様書 第3-3-(1)]	不具合が発生した箇所において、可能な限り速やかに修繕を実施した。	◎	◎
	法定点検の実施	自家用電気工作物保守点検、消防設備点検、防火対象物点検、浄化槽水質検査、ボイラー熱交換器性能検査、ボイラー煙道排ガス測定を実施する。	左記の法定点検について、実施した。	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	休館日:12月29日～1月3日 開館時間:9:00～21:00 [業務仕様書 第2-1、第2-2]	規定どおりに実施 ※令和5年1月25日 大雪警報のため臨時休業	◎	◎
	公共性・公平性の確保	本館(調理教室)、講堂、別館(会議室、美術展示室、視聴覚教室)、体育室、多目的グラウンドについて、統一的な基準により貸館業務を行う。 [業務仕様書 第3-1]	統一的な基準により貸館業務を行い、特定の利用者に利用がたよらないよう、公平な受付業務に努めた。	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	青少年及び成人の教養を高め、並びに地域文化の向上及び地域スポーツの振興を図るとともに、生活創造活動を支援するため、事業を実施する。 [業務仕様書 第3-2]	・指定管理業務 「いざなぎ学園」地域公開講座(1回) 「いざなぎ学園大学」見学会(5回) 「いざなぎ学園大学」(29回) 「いざなぎ学園大学院(地域活動実践講座)(22回) ・自主事業 淡路日本画セミナー講座(10回)、同作品展(3回) 淡路洋画セミナー講座(10回)、同作品展(1回) パッチワーク講座(10回)	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	アンケート配布により利用者満足度調査を実施し、ニーズを把握し、施設運営・事業計画に反映させる。 [基本協定書第35条]	令和4年10月1日から12月28日の間アンケートを配布し、利用者満足度調査を実施した。	○	○
利用状況	利用者数	[前年度:29,639人]	令和4年度利用者数 39,157人	○	○
	施設稼働率	稼働率の増加に努める。 令和3年度実績 講堂:11.3% 会議室:10.1% 美術展示室:49.5% 視聴覚教室:12.0% 調理教室:0.4% 体育室:28.5% 多目的グラウンド:6.8% グラウンド:21.8% 平均:17.55%	稼働率平均が増加した。 令和4年度実績 講堂:10.9% 会議室:10.6% 美術展示室:75.6% 視聴覚教室:12.7% 調理教室:2.9% 体育室:32.0% 多目的グラウンド:11.3% グラウンド:22.3% 平均:22.28%	○	○
収支状況	収支計画と実績	計画(単位:千円) 〈収入〉 指定管理料:56,315 利用料金等収入:842 事業収入:700 合計:57,857 〈支出〉 合計:57,857 [令和4年度業務計画書、当初予算]	実績(単位:千円) 〈収入〉 指定管理料:59,378 利用料金等収入:1,059 事業収入:700 合計:61,137 〈支出〉 合計:61,137	◎	◎
	経費節減に向けた取組	コストカットのため業務や実施の手法を見直す。 また電力契約基本料や使用料削減のためデマンド監視装置を設置し管理を行う。	デマンド管理による契約電力の抑制等により経費削減に努めた。 また、印刷の方法を枚数により使い分けることで印刷代の削減に努めた。	○	○

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	苦情等が発生した場合は速やかに対応し、管理職への連絡を密に行い、処理を行う。 また、アンケート等により利用者からの要望を確認し、サービスの向上を目指す。	苦情等が発生した場合は速やかに対応し、管理職への連絡を密に行い、処理を行った。 また、アンケート等により利用者からの要望を確認し、サービスの向上を図った。	○	○																			
	危機管理体制の確保	協会災害等対策本部設置要綱に基づき災害対策本部を設置し、災害時の職員の行動マニュアルを策定し、危機管理体制を構築する。 また、消防訓練・避難訓練を年2回行う。	協会災害等対策本部設置要綱に基づき災害対策本部を設置し、災害時の職員の行動マニュアルを策定し、危機管理体制を構築した。 また、消防訓練・避難訓練を2回行った。	◎	◎																			
	県・関係機関との連携	関係機関と連携を密にし、業務を行う。	事業を行うにあたり、県民局、教育委員会や文化団体等の関係機関と連絡を密にし、体制を整えた。	◎	◎																			
	業務の再委託の状況	入札等により適切な委託先を選定し、業務の委託を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清掃業務委託</td> <td>緑クリーンサービス</td> </tr> <tr> <td>機械警備</td> <td>セコム(株)</td> </tr> <tr> <td>浄化槽保守</td> <td>(有)中淡清掃</td> </tr> <tr> <td>電気設備保守</td> <td>倉尾和実</td> </tr> <tr> <td>ウェブサイト保守</td> <td>(有)スリークラフト</td> </tr> <tr> <td>空調機器点検</td> <td>(株)淡路空調</td> </tr> <tr> <td>鯉の池揚水料</td> <td>檜ヶ谷田主</td> </tr> <tr> <td>除草作業等</td> <td>淡路市シルバー人材センター</td> </tr> <tr> <td>消防設備点検</td> <td>清水冷機電機</td> </tr> </tbody> </table>	業務内容	委託先	清掃業務委託	緑クリーンサービス	機械警備	セコム(株)	浄化槽保守	(有)中淡清掃	電気設備保守	倉尾和実	ウェブサイト保守	(有)スリークラフト	空調機器点検	(株)淡路空調	鯉の池揚水料	檜ヶ谷田主	除草作業等	淡路市シルバー人材センター	消防設備点検	清水冷機電機	◎
業務内容	委託先																							
清掃業務委託	緑クリーンサービス																							
機械警備	セコム(株)																							
浄化槽保守	(有)中淡清掃																							
電気設備保守	倉尾和実																							
ウェブサイト保守	(有)スリークラフト																							
空調機器点検	(株)淡路空調																							
鯉の池揚水料	檜ヶ谷田主																							
除草作業等	淡路市シルバー人材センター																							
消防設備点検	清水冷機電機																							

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

施設維持管理、運営業務においては、適切な対応を実施できた。
 今後も適切な運営体制を整え、適切な施設維持管理、工事に対する安全確保等、利用者が安心・快適に利用できる会館になるよう努め、利用者の増加、稼働率の上昇を目指していく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部県民躍動課

施設名	兵庫県立淡路文化会館	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県生きがい創造協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・業務計画に沿い、概ね計画通りに会館運営を行うことが出来た。
- ・利用しやすい環境作りに努め、施設維持・運営業務を行うことが出来た。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・それぞれの項目において、事業計画に基づき適切に業務が実施されている。
- ・前年度に比べると利用者数・稼働率は増加しているが、新型コロナウイルス流行前と比べると高いとは言えない数字であるため、ニーズを踏まえた利用者の確保に積極的に取り組む必要がある。
- ・引き続き、施設の PR や多様な事業の実施に努めるとともに、効率的・効果的な運営を図るよう指導した。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	施設全体・敷地内の日常清掃・定期清掃(床・窓ガラス等)及び管理を行う。	清掃は日常業務として実施した。(週6回、年306回) 床のワックスがけ 年12回、窓ガラス磨き 年4回実施した。他、突発的な汚れ等への清掃対応。 計画どおり適切に行い、施設利用者アンケートにおける「施設の清潔さ」では、94.2%が満足していると回答。	○	◎
	設備保守管理	施設全体の空調・電気・ガス・消防・昇降設備及び空気環境・水質・防虫等の衛生管理を行う。	空調冷凍機簡易点検 年4回、電気設備 月1回、消防 年2回、昇降設備 年16回、空気環境 年6回、水質 年1回、防虫 年2回の設備保守・衛生管理点検を実施した。急な設備故障への対応。 諸設備の運転・保守及び衛生管理を適切に行い、利用者の安全・安心を保ち、優れた管理運営を行った。	○	◎
	植栽管理	施設全体・敷地内の植栽管理を行う。	日常業務として実施した。(週6回、年306回) 年3回花の植え替えを実施した。 毎日、枯れ葉を掃除し、定期的に季節の花に植え替えるなど植栽管理を適切に行い、来館者に、劇場としての雰囲気醸し出す、良好な環境を整えた。	○	◎
	警備	施設全体の警備(常駐、夜間警備、巡回警備等)及び駐車場管理を行う。	施設警備、駐車場管理を適切に実施した。(自動警備週7回、年365回含む) 来館者へ職員の声かけを行うなど、安全、安心な劇場を提供した結果、トラブルはなく、利用者の満足度も高く、優れた管理運営を行った。	○	◎

	小規模修繕	施設全体の維持管理のため不良個所の修繕を行う。	老朽化した施設各所の錠前や扉、照明など不具合箇所の修繕を行った。 施設の諸設備の保守・維持管理をきめ細かく行い、施設利用に支障をきたさない、優れた管理運営を行った。	◎	◎
	法定点検の実施	法定点検を実施し、適正な保全業務を行う。	・電気設備、昇降機、消防設備、蓄電池等法定点検等を適切に実施し、消防設備の不具合など迅速な改善に努めた。 また、特定建築物における建築設備及び防火設備の法定点検を実施した。	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	管理運営業務仕様書のとおり業務を行う。	開館時間:9:00~21:00 開館日数:306日 休館日:定休日 51日(原則月曜日)。 年末年始休館日 12月29日~1月3日の6日。 必要に応じて早朝、夜間の延長対応を行い、利用者の利便性に配慮し、優れた管理運営を行った。	○	◎
	公共性・公平性の確保	管理運営業務仕様書のとおり業務を行う。	管理運営業務仕様書のとおり業務を行った。 また、音楽・舞踊相談員、演劇相談員を配置し、アマチュアの利用者が本格的な舞台芸術公演を行える運営体制をひき、優れた管理運営を行い、施設利用者アンケートにおける「全体満足度」では、91.7%が満足したとの結果をえている。	◎	◎

<p>各種事業・プログラムの実施状況</p>	<p>大・中・小ホール、楽屋、練習室等を統一的な基準により貸館業務を行う。 青少年の自由な創造活動を促進し、県民文化の高揚を図るため、文化事業を実施する。</p>	<p>貸館業務 自主事業 (1)鑑賞劇場 8事業 (2)文化セミナー 1回 文化セミナーホ 3回 (3)実技教室 5事業 (4)演劇学校 ア 授業 イ 公演実習 ウ 公開授業 エ 選考試験 (5)舞台技術学校 ア 授業 イ 公演実習 ウ 公開授業 エ 選考試験 (6)ピッコロ演劇賞の贈呈 (7)県立ピッコロ劇団 ア 公演 イ 演劇指導 ウ 外部出演等</p> <p>大・中・小ホール、楽屋、練習室等の使用料収入の確保に努め、約 89.5%の利用率とした。シアタースタート、桂ざこば一門の落語会等、優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場 8 事業を実施し、入場者総数 2,266 人となったほか、青少年の創造活動を促進し、県民文化の高揚を図った。県立として全国初の兵庫県立ピッコロ劇団(劇団員 35 人)は、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざし、9 事業 55 公演を行ない、観客者数は 10,301 人であった。アウトリーチ活動として、演劇手法を使ったゲーム等を通して豊かな表現力や感受性を小学生に育む「あつまれピッコロひろば」事業を無償で行うなど、優れた管理運営を行った。</p>	<p>○</p>	<p>◎</p>
<p>利用者満足度調査結果(アンケート調査)</p>	<p>利用者満足度調査を実施する。</p>	<p>令和 4 年 11 月 1 日～令和 4 年 12 月 28 日に実施した。 施設利用満足度調査において、職員対応に 92.6%が満足し、施設サービス内容でも 82.6%が満足しており、高い評価を維持している。</p>	<p>○</p>	<p>◎</p>

利用状況	利用者数	年間来場者総数は12万人を目標とする。 [前年度:5万8千人]	依然としてコロナ禍による影響が残り、年間来場者総数は、約7万7千人となり目標を下回ったが、徐々に回復傾向になっている。	○	◎
	施設稼働率	年間の劇場全体稼働率は80%を目標とする。 [前年度:99%]	年間の劇場全体稼働率は100%となり目標を達成した。	○	◎
	収支計画と実績	<p>収入合計 444,124 千円 支出合計 444,124 千円</p>	<p>予算執行を適切に行った。</p> <p>収入</p> <p><劇場> (税込み)</p> <p>1 指定管理収入 123,651 受託事業収入 0</p> <p>3 施設利用料収入 19,749</p> <p>4 補助金収入 26,919</p> <p>5 補助事業収入 23,517</p> <p>計 193,836</p> <p><劇団></p> <p>1 補助金収入 194,031 千円</p> <p>2 補助事業収入 56,257</p> <p>計 250,288</p> <p>合 計 444,124</p> <p>支出</p> <p><劇場></p> <p>1 人件費 70,095 千円</p> <p>2 物件費 88,612</p> <p>3 補助事業費 35,129</p> <p>合 計 193,836</p> <p><劇団></p> <p>1 人件費 115,188 千円</p> <p>2 物件費 135,100</p> <p>計 250,288</p> <p>合 計 444,124</p> <p>文化庁から49,523千円の助成金を得るなど、外部資金の導入により、よりいっそう充実した公演等の事業展開を行い、優れた管理運営を行った。</p>	◎	◎

収支状況	経費節減に向けた取組	省エネ対策による経費節減	冷暖房の適切な温度設定、事務室・ロビー等天井灯の一部消灯、照明のLED化により、消費電力の節約に取り組んだ。 利用のない時間帯の消灯、空調の停止などを実施したほか、照明のLED化及びセンサーライトの設置で節電を行った。	◎	◎
	苦情要望等の対応体制・内容	利用者満足度調査等を実施する。	利用者満足度調査や、主催事業ごとの来場者アンケートを実施し、管理、監督職が目を通し苦情要望等に迅速に対応した。	○	◎
運営体制	危機管理体制の確保	消防訓練を実施する。	年2回の消防訓練を通して、非常連絡網等の確認を行った。 防火管理関係の資格取得者が6名おり、自主事業を想定した実地訓練を行うなど、優れた管理運営を行った。	○	◎
	県・関係機関との連携	毎月芸術関係連絡会議を開催する。	毎月の芸術関係連絡会議を通して、情報交換を綿密に行った。 県芸術文化課、県芸術文化協会本部ばかりでなく、地元尼崎市と随時連絡・連携を行い、優れた管理運営を行った。	○	◎
	業務の再委託の状況	施設の維持管理における業務の再委託を適切に行う。	再委託率 32.0%と適正な管理運営を行った。	○	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

それぞれの項目において協定等に定める内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部芸術文化課

施設名	県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

それぞれの項目において、事業計画に基づき適切に業務が実施されている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- 利用者へのアンケートによる満足度調査で全体的に高い評価を受けており、適切な維持管理ができ、施設全体の 89.5%と高い利用率を維持している。
- 施設が老朽化しているが、小修繕等適切に対応しており、施設の保守安全管理において配慮が行き届いている点が高く評価できる。また、H30～R2 に県が進めてきた大規模改修工事についても、利用者・施設・ホール関係者・工事関係者に係る総合的な調整機能を担っているほか、指定管理者として業務に密接に関係する一部事業を受託するなど、主体的にその役割を果たしている。
- 県の芸術文化施策方針に沿って、指定管理事業の運営のみならず、独自の自主事業展開を図り、公立施設としての社会的役割を一層高めている。
- 指定管理者による適正な管理運営がされていると判断するが、県として、引き続き、適正かつ必要な指導、監督に努めるとともに、利用者サービス向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報・アンケート実施など取組みを求めていく。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 40%超 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	芸術文化センター	現指定管理期間	令和4年(1年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	<p>【実績】 左記の清掃業務に加え、突発的な汚れ等への対応</p> <p>【評価】 施設利用者アンケートでは、「施設の清潔さ(清掃状況等)」の満足度は100%となっている。(R4年度アンケートより)</p>	◎	◎
	設備 保守 管理	<p>【実績】 左記の業務に加え、急な設備故障等への対応</p> <p>【評価】 日頃の点検と適切な運転により、95%を超える高稼働の施設を支えている。</p>	◎	◎
	植栽 管理	<p>【実績】 左記の業務に加え、緊急時の特別植栽業務を実施</p> <p>【評価】 適切な植栽管理により美観を保ち、年間約50万人の来館者の心を癒している。</p>	◎	◎
	警備	<p>【実績】 世界一流のアーティストを含む年間数万人に及ぶ楽屋口入館者への適切な対応のほか、火災訓練時には自衛消防隊の中核的役割を担当</p> <p>【評価】 日頃の機器メンテナンス・巡回警備・守衛業務により、年間約50万人の来館者の安心・安全を確保するとともに、出演するアーティストやスタッフを最初に迎える楽屋口においても丁寧な接遇を行っている。</p>	◎	◎
	小規模 修繕	<p>【実績】 来館者の安全・安心を確保するうえで急施を要するものについては直ちに実施。空調機の修繕、監視モニター補修、自動扉補修、大ホール屋上庭園透水管工事等を適宜実施。</p> <p>【評価】 連日多くの来館者が訪れる施設であるため、急施を要する修繕にも早急の対応を行い、来館者の安全・安心や快適性を確保した。</p>	◎	◎

	法定点検の実施	建築設備定期点検、防火設備定期検査、フロア定期点検	<p>【実績】 建物の安全管理の為に各種建築設備の点検や、有事の消火活動に支障のないようにする為の消防設備の点検等を実施</p> <p>【評価】 来館者・利用者・職員が安心して鑑賞、施設利用、就業できる環境を整えている。</p>	◎	◎
	その他	フロント業務（ホール案内、総合案内、チケット販売、グッズ販売管理、スタジオ受付）、チケットオフィス管理（チケット予約販売、発送等）、ホール楽屋管理、舞台機構・照明設備・音響設備の技術操作、保守管理、定期調律等	<p>【実績】 開館時の想定よりも2割増のホール稼働率で運用しており、令和4年度の年間イベント数は約700であったが、万全の感染症予防対策を施しながら、多数の公演を無事終了した。また、障害者・高齢者への配慮や急病人への対応も迅速丁寧に行った。</p> <p>【評価】 年間約650に上る公演に適切に対応。施設利用者アンケートでは、スタッフへの満足度は98%超、また、舞台機構・照明・音響などの設備についての満足度も99%超となるなど、ソフト面・ハード面とも利用者から非常に高い評価を得ている。（R4年度アンケートより）</p>	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	原則として、月曜日休館（夏季・冬季に臨時休館）、午前9時から午後10時まで（駐車場は午前7時から午前0時まで）	<p>【実績】 利用者の要望に応じ、午前9時や午後10時を超えた早朝・夜間の延長を実施。また、総合案内所・チケットカウンターは通常午後5時までであるが、必要に応じ延長営業を実施。さらに、チケット発売日には、スタッフ40名、電話35台体制を整え、利用者の利便性向上を図った。</p> <p>【評価】 施設利用者アンケートでも、9割を超える高い満足度となっている。（R4年度アンケートより）</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	施設利用基準によりセンターの目的に沿った施設利用を推進	<p>【実績】 専任のスタッフを置き、施設利用の相談案内にしている。ホームページにおいて、ホール等施設の空き状況等の情報を提供。利用希望者が多いため、毎月、抽選会を実施。施設利用受付後、施設利用審査会を実施（月1回）。</p> <p>【評価】 センターの特徴を生かした本格的舞台芸術公演に多数利用されている。</p>	◎	◎
		施設利用料金の設定	<p>【実績】 県条例や規則に基づく利用料金の徴収や申請手続を実施</p> <p>【評価】 公演内容に応じた適正な受益者負担を図るとともに、適切な事務手続を行っている。</p>	◎	◎

各種事業・プログラムの実施状況	1 芸術文化センターの運営 (1) 創造・公演事業の実施 (基準:36 事業 58 公演) ①プロデュース事業 ②招聘・提携・共催事業 ③普及・交流事業の実施 ④翌年度以降の事業準備	<p>【実績】 133 事業 224 公演実施 ① プロデュース事業 (11 事業 27 公演) 芸術監督プロデュースオペラ「ラ・ボエム」(8 公演)、ジューズ・コンサート(1 公演)、社会包摂プログラム(1 公演)ほか ② 招聘・提携・共催事業 (93 事業 162 公演) 様々な国の優れた舞台芸術を上演するほか、「世界音楽図鑑」(5 公演)、「古楽の愉しみ」(7 公演)、クリスマス・ジャズ・フェスティバル(6 公演)などの企画公演をシリーズ展開。 関東圏の公立館と連携して良質な演劇公演を実施する等、国内トップ・レベルの舞台芸術を継続して実施することができた。 ③ 普及・交流事業 (29 事業 35 公演) ワコインコンサート(入場料 500 円)(10 公演)、舞台芸術団体フェスティバル、ピッコロ劇団公演ほか</p> <p>【評価】 事業費補助金(3.5 億円)を活かした独自の事業を展開することで、コロナ禍の状況においても、徹底した感染防止対策(売り止め、PCR 検査、公演直前の変更・中止など=収入の減・経費の増、職員の負担増)を講じながら、基準の約 3 倍の事業・公演数を実施。 「芸術監督プロデュースオペラ(長期公演)」は、コロナ禍では全国初となったオペラ全幕上演。また、海外招聘公演の中止が相次いだが、国内アーティストの積極的登用で上質な鑑賞機会を提供した。ワコインコンサート、プロムナードコンサートなどの低額入場料公演では、身近な劇場で生の舞台芸術に親しんでいただけた。 舞台芸術団体フェスティバルでは、幅広い県内団体に上演機会を提供し、地域の文化力向上に貢献。 観客アンケートでは、公演満足度は 98.1%に及び、県民から高い支持・共感を得ている。(R4 年度アンケートより)</p>	◎	◎
	(2) 貸館事業の実施	<p>【実績】 各ホール(325 事業 359 公演)、リハール室(利用率 95%)、スタジオ(利用率 90%)等の貸館事業を実施</p> <p>【評価】 幅広いジャンルでのプロアマチュアの利用に供し、高い利用率となっている。施設利用者の「利用後の全体的な印象」の満足度は 98.7%と非常に高く、「今後もホールを利用したい」団体等は 100%にのぼる。(R4 年度アンケートより)</p>	◎	◎

		<p>2 兵庫芸術文化センター 管弦楽団の運営 (1) 楽団事業の実施 (基準：88 公演)</p>	<p>【実績】 ・演奏活動（89 公演） ①定期演奏会（9 事業 27 公演） ②特別演奏会（2 事業 2 公演） ③室内楽演奏会（5 事業 5 公演） ④青少年鑑賞公演（1 事業 40 公演） ⑤外部依頼公演・外部公演（11 事業 12 公演）、SKO 公演（1 事業 2 公演） *上記のほか、芸術文化センター事業 6 事業 14 公演に出演 ⑥アウトリーチ活動（20 回） 小学校・特別支援学校アウトリーチは、通常の公募に加え遠隔地（令和 4 年度：但馬）にも重点実施するなど、幅広く展開した。 ⑦青少年リモートレッスン人材育成事業（4 校 12 回） 令和 3 年度から、県内中・高校部活動等の演奏の指導を行う本事業を開始。遠方の学校の生徒に対して、楽団員がオンラインで指導。</p> <p>【評価】 定期演奏会をはじめ、楽団公演は出演者の変更があったものの中止することなく上演し、当初の予定通りのプログラムを提供でき、徐々に集客にも好影響が出てきた。 「わくわくオーケストラ教室」は、コロナ禍の影響で全校参加とはならなかったものの、40 公演 367 校、約 4 万 5 千人の生徒が生徒のオーケストラ演奏を鑑賞した。鑑賞した生徒の 98%以上から「参加してよかった」「生演奏がよかった」などの感想が寄せられ、高い評価を得た。さらに、「わくわく Online オーケストラ教室」DVD を製作して県内小・中学校に配布することで、コロナ禍における児童生徒の音楽学習支援を行った。</p>	◎	◎
		<p>(2) 楽団の運営</p>	<p>【実績】 以下の体制により運用 ①レジデント・コンダクター、②常勤奏者（コンサートマスター 3 名、ミュージック・アドバイザー 1 名、コアマンバー 40 名）、③アソシエイト・プレイヤー（客演演奏家により大規模編成の演奏体制整備）、④事務局職員</p> <p>【評価】 コアマンバーはセンターでの活動実績を重ねる中で一層技量を向上させ、国内外プロオーケストラの主要メンバー（関西フィル首席等）等として転出するなど、楽団設立理念の一つであるアカデミー機能についても着実に成果を上げつつある。 また、コロナ禍の影響により海外から特別契約奏者を招聘するのが困難な場合には、国内ゲスト奏者との共演・指導を実施し、コアマンバーの技術力向上の場を確保した。</p>	◎	◎

		<p>3 広報・普及事業等</p> <p>(1)薄井バレエコレクションの管理・活用</p> <p>(2)情報コーナーの開設・運営</p> <p>(3)多面的な広報宣伝活動</p> <p>(4)自主媒体による展開</p> <p>(5)芸術文化センター会員制度の運営</p> <p>(6)普及事業の実施及び舞台技術 関係者、アートマネジメント人材の育成</p> <p>(7)その他</p>	<p>【実績】</p> <p>薄井バレエコレクション（約 6,500 点）の概要や展示情報をインターネットで配信するとともに、主催事業と連動した情報コーナーでの展示を実施。令和 4 年度は、国内外の美術館や研究者から作品貸出や画像提供の依頼が多数あった。</p> <p>また、劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内するバックステージツアー 11 回を開催</p> <p>記者会見等による取材誘致、有料広告（紙面広告、交通広告、Web 広告）、共催先等によるプロモーション等多面的な広報宣伝活動展開により芸文センターの認知度向上、新たなファンの発掘・裾野拡大、公演入場券の販売促進を積極的に展開。</p> <p>情報誌「ひょうご舞台芸術」（年 2 回 / 各 6 万部）や「公演スケジュール」（月 1 回・6000 部）の発行、ホームページ、メールマガジン、SNS 等により幅広く情報を発信。</p> <p>芸術文化センター先行予約会員制度（登録無料）会員数 66,008 人（県内 37,568 人、県外 28,440 人 [R5 年 3 月 31 日現在]）に会報誌（月 1 回・全会員あて送付）で、発売情報を案内することにより、発売日初日にチケットの約 4 割を券売する等、効率的な販売を実現。</p> <p>賛助会員制度（会員企業 17 社[R5 年 3 月末]）の運営や、舞台芸術専門スタッフによる創造活動支援（施設利用者への舞台技術無料指導・支援）等を実施。</p> <p>【評価】</p> <p>薄井バレエコレクション（概要）のインターネット配信、主催事業と連動した展示（常設展・企画展）、特別展などの普及事業等を実施し、分かりやすく楽しめる企画によって開かれた事業展開を行った。</p> <p>バックステージツアーでは、11 回で 558 名の参加があり、普段見ることができない舞台裏や舞台機構を案内し、好評を得た。</p> <p>多面的・戦略的な広報宣伝活動を展開した結果、約 22.8 万枚の券売数に対して券売率は 87.8%となった。</p> <p>個別事業への冠協賛のほか、センターの多彩な活動に賛同し支援いただく賛助会員の協力が、事業実施の支えとなった。創造活動支援は、県民の公演の質の向上と施設利用率向上（リピーター確保）に大きく貢献。</p>	◎	◎
--	--	--	--	---	---

利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	<p>①観客アンケート (令和4年度実施) 主催事業 61 事業 105 公演) 回答数 5,252 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客構成 県内：62%、県外：38% ・来場回数 初めて：8.1%、2回目：4.5%、3～5回目：11.6%、6～9回目：11.5%、10回以上：64.2% <p>※(R4.7月以降公演よりアンケートを再開)</p> <p>②施設利用者アンケート (令和4年度実施) 貸館事業 (325 事業 359 公演) 回答数 83 団体</p>	<p>【実績】</p> <p>① 観客アンケート (満足層)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演の満足度 98% ・開館日・開館時間 76% ・施設・サービス内容 87% ・施設の清潔さ 94% ・職員・スタッフの対応 90% ・施設全体の満足度 93% <p>②施設利用者アンケート (満足層)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用後の全体的な印象 99% ・舞台の大きさ、客席の広さ 98% ・舞台機構、吊りもの、設備・備品 98% ・照明設備 97% ・音響設備 97% ・施設の清潔さ 100% ・開館日・開館時間 98% ・舞台スタッフの対応 99% ・フロントスタッフの対応 99% ・申込・打合せ・公演当日の対応 99% ・今後、ホールを利用したい 100% <p>(R3 年度アンケートより)</p> <p>【評価】</p> <p>①観客アンケート 「公演満足度」は 98%を超え、県民から非常に高い支持・共感を得ることが出来た。「施設全体の満足度」は 86.9%と約 9 割の方々が満足している。観客構成については、県内居住者が観客の中心 (61.5%) となっており、県民のためのパブリックシアターとして支持されている。 また、来場回数が「初めて」「2回目」の観客が 12.6%を占めるが、「10回以上」のリピーターも 64.2%にのぼり、新たなファン層を発掘し続ける一方で、センターを支える熱心なファンも定着し、顧客層の継続的な拡大と獲得に成功 (R4 年度アンケートより)</p> <p>②施設利用者アンケート 満足度は「施設の清潔さ」100%、舞台スタッフの対応」「フロントスタッフの対応」「申込・打合わせ・公演当日の対応」99%、「舞台機構、吊り物、設備・備品」「音響設備」「ご利用後の全体的な印象」98%、「ハード面・ソフト面において満足度はほぼ 10 割と、非常に高い評価を受けている。ホールを利用すればするほど、使い勝手のよさを体感でき、さらにニーズが高まるという傾向も見られる。(R4 年度アンケートより)</p>	<p>◎ ◎</p>	<p>◎ ◎</p>

利用状況	利用者数	総来館者数 63.3 万人 [前年度 : 47.6 万人]	<p>【実績】 総来館者数約 63.3 万人 (うち公演入場者数約 42.8 万人。その他、各ホール公演出演者・スタッフ、リハーサル室・スタジオ利用者、公開リハーサル入場者、各種イベント参加者など)</p> <p>【評価】 対令和元年度は 89.9%、対前年は 132.8%となり、来館者数は戻りつつある。</p>	◎	◎
	施設稼働率	ホール稼働率 95.7% [前年度 : 91.1%]	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール : 93.7% ・中ホール : 95.4% ・小ホール : 98.1% <p>【評価】 コロナ禍で感染症拡大の大きな影響を受けつつも、貸館もあわせたホール利用率で平均 95%を超える水準まで戻った。コロナ禍のなか、本格的な舞台芸術劇場としての存在感を県内外にアピールするとともに県民の多様な創造活動の発表の場を提供することができた。</p>	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総費用 27.4 億円 ・総収入 27.4 億円 (事業収入 (自主財源含む) 10.2 億円、県補助金 (事業基金) 4.3 億円、県補助金 (一般財源) 5.4 億円、県指定管理料等 5.9 億円、施設使用料等収入 1.6 億円) 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総費用 28.8 億円 ・総収入 29.1 億円 (事業収入 11.1 億円、県補助金 (事業基金) 4.3 億円、県補助金 (一般財源) 5.6 億円、指定管理料等 5.9 億円、施設使用料等収入 2.2 億円) <p>収支差 0.3 億円</p> <p>【評価】 コロナ禍の状況下においても徹底した感染防止対策を講じた運営を行い、事業収入は回復しつつある一方、国庫助成金の積極的な獲得などの収入確保や経費節減といった経営努力の結果、単年度黒字となった。</p>	◎	◎
	経費削減に向けた取組	電気一括入札等による光熱水費の削減 ネーミングライツ導入による財源の確保	<p>【実績】 光熱水費 68,905 千円の不足 (実績 133,010 千円-予算 64,105 千円) ネーミングライツ収入 (県の取組) : 行革取組として H20 より募集、年間 0.5 億円 (うち 0.25 億円はセンター事業基金に積立)</p> <p>【評価】 燃料高騰による電気・ガス料金値上げの影響を受けながらも、経費削減と施設使用料の確保に努めた。 ネーミングライツ収入のうち、センター事業基金積立分は、大型公演の財源として確保している。</p>	◎	◎

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>第3者を含む運営委員会を設置し意見を運営に反映</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回経営会議を開催し、重要事項の決定のほか、各課の課題を共有 ・コロナ対策、安全衛生、ひょうごプレミアム芸術デーなど、テーマ毎に委員会やワーキングを設けて中堅・若手職員を中心に議論し、館の方針決定に寄与 ・設備・警備、清掃、舞台、フロント等の各委託業者から毎日報告を受けて状況を把握。また、定例委託会議を開催し、情報交換及び指示 ・空調・警備等の設備の定期的な保守・点検等により、来館者に常に快適な劇場環境を提供し、芸文センターへの高い信頼を確保 ・近隣住民へ毎月の公演情報を連絡するなどして、近隣との良好な関係の構築 <p>【評価】</p> <p>日々の課題へは各担当課で即時対応、重要案件については経営会議に諮るなど適切に対応した。また、運営委員会の開催のほか、専門家を招いて感染症予防勉強会を開催するなど、適宜外部専門家の意見を取り入れ、館の運営に反映させている。</p>	◎	◎
	危機管理体制の確保	<p>緊急時対応マニュアル、消防計画に基づき確保（重要案件は経営会議）、機器は定期的にメンテナンス</p>	<p>【実績】</p> <p>消防総合訓練を2回・地震避難訓練を1回実施、各種機器（消防設備、昇降機、舞台機構、照明設備、音響設備等）の定期保守点検</p> <p>【評価】</p> <p>全館を挙げて消防総合訓練を実施。設備等についても信頼のおける専門業者の定期保守点検を計画的に実施し、安全管理を行っている。</p>	◎	◎
	県・関係機関との連携	<p>県芸術文化課、県芸術文化協会本部と随時連絡・連携等する</p>	<p>【実績】</p> <p>毎月の県・協会本部との連絡会議を通して、綿密に情報交換を実施。公立文化施設協議会（県：会長）、公立文化施設協会（全国：理事、全国近畿支部：支部長、阪神：会員）、多面・大規模舞台劇場協議会にも参加し、県内外ホール間の連携を深めた。</p> <p>【評価】</p> <p>県芸術文化課、県芸術文化協会本部と随時連携し、課題に対応した。また、公立文化施設協議会・協会への加盟を通じて他館との連携を深めながら、得られた情報を館運営に活用した。</p>	◎	◎

業務の再委託の状況	舞台運用業務、リハーサル室管理業務及び施設利用相談等業務、フロント業務及びチケットオフィス業運用務、建物設備・警備・入出者対応業務、クリーンキープ・植栽・楽屋機能維持業務等	【評価】 各社とも高い職業意識と専門性を併せ持ったプロフェッショナル集団である。これら委託業者の仕事ぶりや業績がセンターの高い評価に貢献しており、民間活力を十分に活用できている。	◎	◎
-----------	--	---	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

<p>センターの「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、徹底した感染症対策を実施しながら事業推進を図った結果、令和4年度は、主催事業数・公演数の合計が150事業293公演となり、令和元年度の約92%まで回復した。また、貸館についても、令和2年度の159公演から令和4年度は359公演まで回復した。 (利用料収入：R2→47百万円、R4→168百万円)</p> <p>令和5年度も、一層の経費削減、適切な設備保守、万全な感染症対策に努めながら、主催事業・公演数152事業273公演以上の実施をめざす。</p> <p>また、令和7年度の開館20周年に向け、優れた人材の確保・養成、継続的な運営財源の確保、施設・設備の大規模修繕の計画など、中長期的にも安定的な運営体制の充実に努める。</p>
--

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部芸術文化課

施設名	芸術文化センター	現指定管理期間	令和4年(1年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○ 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ緩和され、コロナ前の9割程度にまで来館者数が回復した。芸術文化協会が持つ専門性と蓄積されたノウハウにより、事業計画に基づきつつも機動的・柔軟に対応を行い、効率的で質の高い管理運営が実施されている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- 施設・設備の維持管理において、新型コロナウイルス感染症対策に留意し清掃・点検等適切に実施されており、利用者の安全・安心及び快適性が確保されている。
- 施設の稼働率が高く、施設利用者アンケートにおいても高い評価を得ていることから、施設運営の好調さを窺うことができる。
- 芸術監督プロデュースオペラやワンコインコンサート等、多彩な公演事業を実施することにより、舞台芸術ファンの要望に応えたとともにすそ野拡大に努めている。
- 「わくわく Online オーケストラ教室」の配信や「青少年リモートレスン人材育成事業」の実施等、新たな取り組みにより青少年の育成に寄与している。
- 開館から15年以上が経過し、施設、設備の劣化が見られるため、今後も引き続き日常の安全点検等を実施し、不具合の早期発見に努められるとともに、次期大規模修繕に向け課題について整理願いたい。
- 少なくないクレーム等へ適切に対応しているが、今後とも丁寧な対応を継続願いたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	兵庫県民会館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	建物を管理し、かつ、美観維持を行う。 施設全体・敷地内の日常清掃・定期清掃(床・階段・トイレ・窓ガラスなど)を行う。	清掃管理は適切に実施。 貸会議室は使用終了毎、階段・トイレ等は毎日、団体事務所は週1回モップ掛け、各フロアのワックス掛けは年2～4回実施し、美観を維持。 新型コロナウイルス感染予防のため、共有スペースや設備、備品等の消毒・除菌対策を実施。使用頻度の高いトイレ、ロビーでは清掃頻度を増やし、従来の日常・定期清掃に消毒・除菌対策も含め、椅子・テーブル、ドアノブ等接触部位は入念に清掃。床面は全館洗いワックスを行い、汚れを一掃している。	◎	◎
	設備保守管理	施設全体の空調・電気・ガス・消防・昇降設備及びホール設備等運転・保守並びに空気環境・水質・防虫等の衛生管理を行う。	設備保守管理は適切に実施。点検等は定期的に行っている。 ・中央監視装置・電気設備・高架水槽:年1回 ・空気自動制御機器:年2回 ・水質検査:年3回 ・空気環境測定:年6回 ・防虫駆除・昇降設備:毎月 設備の老朽化が顕著だが、常に設備機器の状態に注意し、諸設備の運転・保守及び衛生管理を適切に実施するとともに、突発的な故障等にも迅速に対応し早期復旧に努めている。 細やかなシステム管理で空調温度管理を向上。会館利用者や団体事務室の協力のもと夏季の電気温水器停止などで節電。今後も一層の電力削減を図る。	△	○

	植栽管理	施設周辺の美観維持を行うとともに植栽管理を実施する。	植栽管理を適切に実施。 通路にはみ出た樹木や植物はその都度除去。 咲き終わった植木の剪定など、建物の美観維持にも繋がった。	○	◎
	警備	施設全体の警備(常駐、夜間警備、巡回警備など)及び車庫、駐車場管理を行う。	施設全体(車庫含む)の警備を適切に実施。 常駐、夜間警備、巡回警備(朝、昼、夜9回)を実施。施設、エレベータ及び車庫内の監視カメラ等で常時、不審者の入館を監視。 巡回警備では、団体事務所等施設確認、不審者等の監視等利用者の安全に気を配りながら、駐車場を含めた施設全体の警備・管理を実施。	○	◎
	小規模修繕	施設利用者に快適に利用していただくよう心がけており、また、日常の業務に支障のないよう修繕を行う。	新型コロナウイルス感染症対策として、国・県からの補助を受け、トイレの自動洗浄化工事を行うなど、利用者に対する安心・安全の確保や利便性・魅力の向上に努めた。	◎	◎
	法定点検の実施	建物・設備・環境衛生などについて法令等の規定に基づき、有資格者による点検・調査を実施する。	施設、設備、備品等の日常点検に加え、定期点検として法令等に定める基準に従い有資格者や技術員による点検・調査を実施。 異常等判明した場合は迅速に修繕等の措置を取った。	○	◎
運営業務	開館日・開館時間等	1 休館日 (1) 1月1日～3日及び 12月29日～31日 (2) 4月第3月曜日 (3) 6月、8月の第3日曜日 2 開館時間 午前9時から午後10時	1 休館日 (1) 1月1日～3日及び 12月29日～31日 (2) 4月18日 (3) 6月19日 (4) 8月13日<臨時>、14日 2 開館時間 午前9時から午後10時 休館日に消防設備や電気・ガス設備の点検、汚水槽・雑排水槽の清掃を実施。 開館時に実施できない懸案事項を適切に処理した。	○	◎

運営業務	公共性・公平性の確保	すべての会館利用者への平等・公平・公正な利用機会の確保	<p>1 ギャラリー ギャラリー運営会議への諮問・承認(年3回開催)</p> <p>2 会議室・ホール 予約申込初日に抽選(メール、FAXで申込可能)</p> <p>3 施設・設備や空室状況の情報提供 ホームページへの掲載や空期間の展示室のPRチラシなどにより情報提供</p> <p>ギャラリーは利用者から提出された利用計画書に基づき、日程調整のうえ、ギャラリー運営会議に諮り承認。 また、その他貸室は先着順を前提に抽選を行い公平な運営に努めた。</p>	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	芸術文化の鑑賞や生涯学習の機会などを提供し、県民文化の向上を図るため、展示事業その他の文化事業を行う。	<p>1 県民会館の利用促進に資する事業 会館の利用促進を図るため、生涯学習や芸術文化活動への参加機会を提供する事業を実施。</p> <p>2 県民文化の向上に資する事業 会館周辺でのコンサートや顕彰事業、文化情報提供事業など県民文化の向上に資する事業を実施。</p> <p>3 公益文化事業を支援する募金の募集 1階フロントに募金箱を設置し募金活動を実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により中止となった事業も発生したが、県からの補助金等を活用したコンサートの実施など、コロナ禍の状況に即した各種芸術文化事業を展開し、芸術鑑賞や生涯学習などの機会を提供し、会館の利用促進に繋げた。</p>	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	業務の質とサービスの向上を図ることを目的に、利用者等から運営に関する意見を聴取する。	アンケート調査の実施 実施期間: R4.7.3~7.9 R5.2.20~3.1 (感染拡大期を避けて実施) 調査内容 施設設備の状態、施設の清潔さ、職員・スタッフの対応・人数、利用料金の設定、総合的な満足度(3~5段階) アンケート調査の結果では、「職員・スタッフの対応」で88%の人が満足と回答しており、管理・運営の各項目で概ね良好な評価を得ており、顧客満足度は良好である。	◎	◎
利用状況	利用者数	できるだけ多くの県民に利用いただけるよう心がける [前年度: 297,950人]	令和4年度利用者数 423,385人 徹底した感染対策を行い来館者に安心・安全な環境を提供したが、新型コロナウイルスの感染拡大の第7波、第8波が生じ、外出自粛ムードが払拭されず、来館者はコロナ禍前の元年度の使用者数までの回復に至っていない。 (元年度利用者数: 480,028人)	○	◎
	施設稼働率	できるだけ多くの県民に利用いただけるよう心がける [前年度: 48.7%]	11階ホール 64.5% 9階ホール 71.0% 会議室 60.2% 集会室 47.0% 宴会室 62.9% ギャラリー 42.6% 付属駐車場 延35,307台 専用車庫 延525台 ホールや会議室、ギャラリーの利用率(57.3%)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、前年度比18%の伸びと若干の上昇に留まった。 毎月1日に実施するホール・会議室の抽選申込は、メール・FAX等の事前申込でも受け付け、抽選も非対面で行い、安全性や利便性を向上させている。	○	◎

収支状況	収支計画と実績	<p>収支のバランスを考慮した事業計画の実施。</p> <p>R5計画 <収入計 245,957 千円> 施設利用料 191,107 会館運営 47,850 県補助金 7,000</p> <p><支出計 245,957 千円> 人件費 29,189 物件費 121,668 還付金 95,100</p>	<p>R4決算 <収入計 243,505 千円> 施設利用料 170,252 会館運営 41,872 県受託事業 2,139 県補助金 7,000 雑収益 6,393 自己負担 15,849</p> <p><支出計 243,505 千円> 人件費 29,072 物件費 119,333 還付金 95,100</p>	△	○
	経費節減に向けた取組	<p>利用者の快適性を損なわずに節減に取り組む</p>	<p>室内温度の制御 団体事務室や会館利用者が使用する会議室については、設定温度を細やかに制御。 兵庫県の電力一括購入に参加し経費節減を図っている。</p>	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>利用者の苦情要望に応え、快適な環境を提供する。</p>	<p>利用者からの苦情要望等に、迅速かつ丁寧な対応を図ることで、適切に処理。 重要案件については、定例連絡会議に諮るなど適切に対応。</p>	○	◎
	危機管理体制の確保	<p>年2回の消防訓練を行い、緊急事態に備える。</p> <p>県民会館は、令和元年から帰宅困難者の一時滞在施設となり、豪雨や地震等災害による緊急事態に公的施設としての役割を果たす。</p>	<p>所轄消防署に届出し、県民会館入居団体の職員も参加する総合消防訓練・防災訓練を実施。 緊急連絡網を整備するとともに、病人の発生時の救急車の発動要請や警察への通報・連絡等を行った。 県・市・民間施設で構成する「三宮駅周辺地域帰宅困難者対策協議会」の作業部会に参加。周辺施設等と発災時における対処方針や連絡網などを情報交換。</p>	○	◎
	県・関係機関との連携	<p>県、市、消防、警察等機関と連絡をとり、安全、安心な環境の保持に努める。</p>	<p>毎月の定例連絡会議を通して、所管課や協会本部と綿密に情報交換するなど、関係機関との連携を適切に行った。 また、芸術文化関係合同会議や公立文化施設協議会（県・阪神）にも参加。</p>	◎	◎

	業務の再委託の状況	清掃等ビル管理業務、昇降機保守業務など施設・設備等の保守管理に係る業務などを再委託。	有資格者等による法定点検業務等も含め、施設・設備等の保守管理に適切な事業者を会計規程に基づき選定・委託。	◎	◎
--	-----------	--	--	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和2年度から続くコロナ禍のもと、利用者数や施設稼働率が伸び悩み、収支差額の赤字(15,850千円)が発生したが、国・県の補助金を活用した非常用発電機の蓄電池更新など館内の快適性・利便性の維持・向上に努めた。

令和5年度も適切な感染症対策に万全を期しながら、コロナ禍前の令和元年度水準の利用者数や施設稼働率を目指し、利便性やサービスの向上、コスト削減・業務の合理化に努めていく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部芸術文化課

施設名	兵庫県民会館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○事業計画に基づいた、適切な管理運営が実施された。
 ○施設が老朽化しているが、小修繕等適切に対応しており、施設の保守安全管理において配慮が行き届いている点が高く評価できる。
 ○昨年度に引き続き1年を通して新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、経費削減に努め、収支安定化を目指した。
 ○館内清掃など感染症対策を徹底するとともに、利用者へ丁寧な説明を行い理解を求め、安心安全な運営を行っている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

○利用者アンケートにおいても概ね高い評価を得ており、施設の維持管理状態や利用者へのサービス提供は良好と考えられる。
 ○引き続き、安全・安心かつ快適な施設の提供と利用者サービス向上に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和 4 年度 管理運営評価シート

施設名	県立美術館王子分館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	日常清掃業務・ゴミ処理業務 ・展示室、トイレ、共同部門等 (毎日) 定期清掃業務 ・ワックス塗布、ガラス清掃 (各 1 回/年)	日常清掃業務・ゴミ処理業務 ・展示室、トイレ、共同部門等 (毎日) 定期清掃業務 ・ワックス塗布、ガラス清掃 (各 1 回/年) 清掃は委託業者により施設 全体を行っている。日常清 掃、定期清掃等を適切に行っ ており、清潔な施設を常に維 持するよう努めている。	○	◎
	設備保守管理	昇降機設備・自家用電気工 作物(1 回/月) 消防設備(2 回/年) 空調設備・空調機自動制御 機器(2 回/年) 駐車場管理(24 時間電話対 応・1 回/年) 自動扉保守点検(2 回/年) 重量シャッター保守点検 (1 回/年)	昇降機設備(オーチス製・日 立製・フジテック製) / 自家用 電気工作物(1 回/月) 消防設備(2 回/年) 空調設備・空調機自動制御 機器(2 回/年) 駐車場管理(1 回/年) 自動扉保守点検(2 回/年) 重量シャッター保守点検 (1 回/年) 王子分館として、適正かつ安 全な維持管理業務を遂行し た。空調設備において、年 2 回機器の保守点検を実施す ることにより、故障を防ぎ、計 画的に機器の入替を検討で きるようにした。昇降機にお いても、法令点検などを含む 保守点検を継続実施し、定期 報告に基づいた維持管理を 遂行できた。	◎	◎
	植栽管理	芝生手入れ(4 回/年) 害虫防除(2 回/年)、雑草発 芽抑制剤散布(3 回/年) 樹木手入れ(1 回/年)	芝生手入れ(4 回/年) 害虫防除(2 回/年)、雑草発 芽抑制剤散布(3 回/年) 樹木手入れ(1 回/年) 造園業者による植栽管理を 実施した。また、中庭高木の 剪定など美観の回復に努め た。	◎	◎

警備	常駐警備業務(設備運転)・巡回業務 (美術館部門は24時間警備) 機械自動警備(夜間・休日含む)	常駐警備業務・巡回業務 (1日5回以上) 原田の森配置は設備運転兼務 (美術館部門は24時間警備) 機械自動警備(夜間・休日含む) 適切な安全保安業務を行うことができた。原田の森ギャラリーでは、平成29年度より施設保安警備と設備運転業務を兼務し、日常管理業務の効率化を図った。横尾忠則現代美術館では、24時間警備により、作品の適切な管理など、対外的にも安心・信頼できる美術館仕様として対応できた。	○	◎
小規模修繕	施設内不良箇所の修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・原田の森ギャラリー本館展示室系統空調ダスト修繕工事 ・原田の森ギャラリー別館客用エレベーター停電用バッテリー交換修理工事 ・横尾忠則現代美術館展示室空調機温湿度センサー取替工事 ・王子分館消防設備機器取替等修繕工事 <p>安全・安心を確保するうえで急施を要するものについて早急に修繕を実施。利用者が快適に施設を利用できるよう、また、寄贈・寄託を受けている作品等を適切に保管、管理できるよう努めた。</p>	◎	◎
法定点検の実施	法定点検を実施し、適正な保全業務を行う。	<p>消防点検(機器点検(2回/年)・総合点検(1回/年)) 昇降機定期点検(1回/年) 自家用電気工作物(月次点検・精密点検(1回/3年)) 空気環境測定(6回/年) 水質検査・雑排水槽清掃・害虫駆除・IPM防除(2回/年) 貯水槽清掃(1回/年) 雑排水管洗管(2回/年)</p> <p>建築基準法、消防法等法令に基づく定期検査の実施により、利用者が安全・快適に使用できるように努めた。</p>	○	◎

運 営 業 務	開館日・開館時間等	<p>休館日</p> <p>①原田の森ギャラリー 12/29～1/3、毎週月曜日(祝日の場合は翌日)</p> <p>②横尾忠則現代美術館 年末年始、毎週月曜日(祝日の場合は翌日)</p> <p>開館時間</p> <p>①原田の森ギャラリー 午前10時～午後6時</p> <p>②横尾忠則現代美術館 午前10時～午後6時</p>	<p>休館日</p> <p>①原田の森ギャラリー 12/29～1/3、毎週月曜日(祝日の場合は翌日)</p> <p>②横尾忠則現代美術館 12/29～1/3、毎週月曜日(祝日の場合は翌日)</p> <p>開館時間</p> <p>①原田の森ギャラリー 午前10時～午後6時</p> <p>②横尾忠則現代美術館 午前10時～午後6時</p> <p>ギャラリー部門、美術館部門ともに、県の新型コロナウイルス対処方針等に従い、館内の消毒・清掃、来館者への感染症対策呼びかけ(美術館は、これに加え、金・土曜の夜間開館の取りやめの継続)等を行い、感染防止に努めた。</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	すべての来館者への平等・公平・公正な利用機会の確保	<p>ギャラリー運営会議での承認(年3回開催)</p> <p>先着予約の徹底(会議室等)</p> <p>ホームページでの施設の詳細、空室状況提供、空期間の展示室をPRするチラシ作成、案内など</p> <p>利用者から提出された利用計画書に基づき、日程調整のうえ、原田の森ギャラリー運営会議に諮り承認している。また、その他貸室は先着順を前提とし、公平な運営に努めた。</p>	○	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	<p>貸し展示室・貸し室業務</p> <p>各新聞社等への情報提供、インターネット等活用による広報</p>	<p>広報活動の充実(展覧会案内の作成)</p> <p>インターネットを活用した積極的な情報発信</p> <p>近隣の公共施設や地域の掲示板及び公共交通機関と連携した広報活動</p> <p>展覧会案内の作成・配布やホームページ情報を随時更新し、リニューアル後の貸し館業務の充実に努めている。</p>	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	アンケート調査の実施	毎回、利用後に満足度調査アンケートを実施 利用者満足度アンケートでは高い評価を得ており、良好なサービスを提供できた。リニューアル後の感想も概ね良く、利用者の満足度も高い。また、利用者の声を管理運営に反映させるよう努める。	◎	◎
利用状況	利用者数	前年度の利用者数を維持しつつ、さらに増加を図る。 [前年度] 全体年間利用者数 145,252 人 原田の森ギャラリー 100,867 人 横尾忠則現代美術館 44,385 人	全体年間利用者数 189,208 人 原田の森ギャラリー 131,533 人 横尾忠則現代美術館 57,675 人 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら開館し、ギャラリーの来館者数は約13万2千人まで回復、造形芸術の発表・鑑賞、創作・交流の場の役割を果たした。 美術館では、集客力向上のため SNS を活用した情報発信に努めており、開館 10 周年を記念した3本の企画展が好評であったことから、美術館の来館者は 5.8 万人、展覧会入場者数は 3.5 万人となり、コロナ禍前の水準を回復した。	◎	◎
	施設稼働率	・本館展示室の平均利用率 85% ・展示室全体の平均利用率 85% ・施設全体の平均利用率 65% [前年度] ・本館展示室 86.0% ・展示室全体 80.5% ・施設全体 69.2%	・本館展示室 88.7% ・展示室全体 89.4% ・施設全体 75.8% 本館1階展示室 85.9%、本館2階大展示室 91.5%、東館1階展示室 90.8%、東館2階展示室 89.2%、全体で 89.4%と大きく回復し、感染症対策を講じ、利用者の意向を踏まえながらコロナ禍以前の利用率への回復に努めている。	◎	◎

収支状況	収支計画と実績	<p>R5 計画</p> <p>収入 192,109 千円 <内訳> 指定管理料 123,874 利用料収入 25,564 補助事業収入 42,245 協会負担 426</p> <p>支出 192,109 千円 <内訳> 人件費 53,092 管理費 96,772 補助事業費 42,245</p>	<p>R4 実績</p> <p>収入 242,362 千円 <内訳> 指定管理料 112,989 利用料収入 44,870 運営収入 155 ショップ収入 12,936 展覧会配分金 9,172 補助事業収入 58,152 助成金 4,088</p> <p>支出 242,362 千円 <内訳> 人件費 55,374 管理費 118,156 補助事業費 63,392 消費税 5,440</p>	◎	◎
	経費節減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務経費の見直し ・光熱水費の削減 ・節電による環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務経費の見直し ・光熱水費の削減 ・室内温度管理の徹底 空調設備保守業務と空調自動制御機器保守業務を統合して館全体の空調を一括管理することにより、経費節減を図った。また、空調機器の部品交換・清掃等きめ細かいメンテナンスを施すことにより、省エネを実現し光熱水費削減に努めた。さらに、消耗品には積極的に省資源・リサイクル製品を購入した。 ・送風による冷房用エネルギーの削減 ・再生紙の活用 	◎	◎

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場案内表示の設置、改善 ・駐車場における苦情処理（券発行など） ・タッチ式のデジタルサイネージを設置し、フロア案内、当日催し案内等のコンテンツを来館者に提供 ・空調設備の微調整、修繕整備 ・監視カメラの設置（防犯） <p>苦情処理の処理体制を整備するとともに、利用者からの苦情・要望や、敷地内の迷惑行為などは職場ミーティングにおいて、職員全員に周知し迅速・的確な対応を行った。</p>	○	◎
	危機管理体制の確保	緊急連絡網整備 消防訓練の実施	<p>緊急連絡網の整備 警備会社との連携 消防訓練の実施</p> <p>緊急連絡網を作成し、迅速に対応できるような危機管理体制を整えている。 防火管理者を配置し、職員全員を対象に年 2 回の消防訓練を実施した。 また、避難経路の確認、消火設備の点検を行い、危機管理に対して万全の処置を講じた。</p>	○	◎
	県・関係機関との連携	県や関係課との緊密な連絡・協議のもとで施設を運営	<p>県広報媒体を通じた展覧会のプレスリリースや、ひょうごプレミアム芸術デーをはじめとする企画に参画し、集客につなげる取組を行った。 また、兵庫県立美術館とは相互割引制度を設けるなどの連携を図っている。</p>	○	◎

	業務の再委託の状況	<p>施設の清掃、警備、設備管理、受付業務等の再委託</p>	<p>(指名競争入札) ・清掃警備等設備管理業務 ・空調設備保守点検 (見積り合せ) ・消防設備点検 ・庭園維持管理業務 ・重量シャッター保守点検 ・自動扉保守点検 ・自家用電気工作物保守点検 (随意契約) ・機械自動警備 ・昇降機保守点検 ・駐車場運営管理業務 ・ショップ・レジ保守点検 (プロポーザル) ・受付・監視・ミュージアム ショップ販売業務</p> <p>ギャラリーと美術館という性質の異なる施設の維持管理業務を一体的に行うことにより、適正かつ効率的な業務の遂行を確保するため、各業務内容や規模に応じた方法で業者を決定した。さらに、長期継続契約を実施することにより、経費の節減を図った。</p>	◎	◎
--	-----------	--------------------------------	---	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

維持管理業務においては、利用者の利便性・安全性を重視し、警備員を適切に配置し、必要な保守点検や修繕を実施することにより、良好な環境の保持に努めた。

事業運営面では、利用促進を図るため、原田の森ギャラリーではタイムリーな情報提供や丁寧な接客を心がけており、横尾忠則現代美術館では SNS を用いた情報発信に力を入れている。ギャラリー利用率や美術館入場者数ともに、令和4年度にはコロナ禍前の水準を超えて回復しており、良好な管理運営ができていると考える。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部芸術文化課

施設名	県立美術館王子分館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県芸術文化協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○芸術文化協会が持つ専門性と蓄積されたノウハウにより、事業計画に基づいた、効率的で適切な管理運営が実施された。

○コロナ禍で落ち込んだ前年度の施設利用率を大きく回復させ、ほぼ例年並みに戻っている。利用者アンケートにおいても高い評価を得ていることから、施設運営の努力と好調さを窺うことができる。

○施設・設備の維持管理においても、日常の清掃・点検が適切に実施されており、利用者の安全・安心及び快適性が確保できた。

○その他利用促進と経費削減につとめることで、収支安定を図った。

○美術館事業でも、展覧会関連事業としてアーティストトーク、ミニライブ、オープンスタジオコンサートなどの多彩なイベントを企画実施するなど、入館者数増加への努力が評価できる。

○来場型のイベントに加え、動画配信にも取り組み、with コロナの時代にも柔軟に対応している。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

○利用者アンケートにおいても概ね高い評価を得ており、施設の維持管理状態や利用者へのサービス提供は良好と考えられる。

○引き続き、安全・安心かつ快適な施設の提供と利用者サービス向上に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が40%超60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	ひょうご女性交流館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(一財)兵庫県婦人会館	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	日常清掃、臨時清掃	日常清掃(毎日)、臨時清掃(年2回)	◎	◎
	設備保守管理	空調・受水槽・消防・電気・エレベータ	年2回～6回実施	◎	◎
	植栽管理	施肥、剪定	年1回	◎	◎
	警備	会館時は職員、閉館時は機械	毎日実施	◎	◎
	小規模修繕	緊急性のあるものから順次	必要に応じて随時実施	◎	◎
	法定点検の実施	消防設備、害虫駆除等	年2回実施	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	日祝・年末年始休館、9時～21時開館	規程どおり実施	◎	◎
	公共性・公平性の確保	設置管理条例を遵守	規則等を遵守	◎	◎
	各種事業・プログラムの 実施状況	該当なし		—	—
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	年1回実施	満足が87%	◎	◎
利用 状況	利用者数	前年度並み [前年度:5,293人]	5,968人	◎	◎
	施設稼働率	前年度並み [前年度:64.8%]	70.9% (207日/292日)	◎	◎
収支 状況	収支計画と実績	利用料収入 4,372 千円	利用料収入 4,377 千円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	事業費支出の削減	光熱水費、事務費の節減	◎	◎
運営 体制	苦情要望等の対応体制・内容	窓口職員が対応	丁寧な対応を心がけている。	◎	◎
	危機管理体制の確保	緊急連絡先、委託先の把握	窓口に貼付、関係者に配布	◎	◎
	県・関係機関との連携	県所管課との連携	連携体制を築いている。	◎	◎
	業務の再委託の状況	清掃、設備保守、警備等を委託	専門業者に業務委託	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

計画どおり実施できているが、県の公共施設予約サービスや e メールを利用した予約受付の促進による利用者確保及びこまめな節電等による経費節減に努めていく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部男女青少年課

施設名	ひょうご女性交流館	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(一財)兵庫県婦人会館	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

利用者へのアンケートによる職員・スタッフの対応の満足度調査では、86.7%がほぼ満足の評価を受けているほか、こまめな消灯等による光熱水費の削減など経費節減に努めている。また、(一財)兵庫県婦人会館は、県内最大の女性団体である兵庫県連合婦人会と非常に密接な関係性を有するとともに、兵庫県栄養士会や兵庫県いずみ会等その他の女性を中心とする有力団体とも強い関係性を有しており、女性の活動の活性化、団体間の連携強化等が図られ、多くの女性団体が利用し様々な活動を展開することにより、女性の社会参加の促進に向けた活動が行われている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

施設稼働率を上げる必要があると考えられるため、県民に広く広報するなど会館利用促進を図る取組を実施するよう指導。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	いえしま自然体験センター	現指定管理期間	令和3～5年度(3年間)
指定管理者	(一社)いえしま自然体験協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	ロッジ等貸出施設の新型コロナ対策による消毒	◎	◎	
	設備保守管理	ロッジ汚水経路の保守管理/ 年2回	◎	◎	
	植栽管理	工作物に接触する樹木及び害獣(猪)対策を兼ねた開けた空間を保つ為の伐採を行った。	◎	◎	
	警備	場内巡視 毎日2回 害獣(猪)対策	◎	◎	
	小規模修繕	浴槽配管の取替	管理棟の浴槽につながる配管(銅管)が経年劣化により内部に錆が発生し、浴槽水の色に変化が見受けられたため、耐熱塩化ビニール管に改修した。	◎	◎
	法定点検の実施	自動火災受信盤等の点検	管理棟の火災受信盤の動作確認及びロッジ等の各施設への放送設備点検・消火器の使用期限の点検を実施し使用期限間近の消火器の交換を行った。	◎	◎

運営業務	開館日・開館時間等	年中無休 365日宿直の実施	年中無休 利用者が安心・安全に利用できるよう365日宿直体制を実施した。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	誰もが利用できる環境整備	高齢者や乳児、身体障害者が利用しやすくなるよう、来島・離島時には車両での送迎や荷物の運搬の協力を行った。	○	△
	各種事業・プログラムの実施状況	【指定管理業務】 課題を抱える青少年への事業を実施 働くことに悩みをもつ若者への就労支援を実施 【自主事業】 自然の素晴らしさや、地球環境の大切さを伝える	【指定管理業務】 ネット環境から離れて、自然体験をとおして仲間とのふれあいや人とのつながり、インターネットとの上手な付き合い方を考えるきっかけとなる事業を実施した。 就労支援に参加した5名の若者のうち2名が就職内定した。 【自主事業】 家族・小学生・中学生など、様々な年代に対し18の事業を実施した。	○	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	実施なし		×	×
利用状況	利用者数	令和4年度実績16,391人 [前年度:12,662人]	感染防止対策を継続したうえで施設利用制限の解除を行い、一般・団体利用の利用者増となった。	○	○
	施設稼働率	令和4年度実績 12.9% [前年度:8.0%] ロッジ稼働率	新型コロナ対策の利用制限解除に伴いロッジの稼働率が増加した。	△	○
収支状況	収支計画と実績	令和4年度実績△4,293千円 令和3年度実績△ 209千円	電力・食料品等の価格高騰によりマイナス収支となった。	×	△
	経費節減に向けた取組	電力削減 通勤にかかる借上船の時刻変更	冬季等の利用の無い電力をブレーカーを落とす事により電力削減を行った。 通勤経路の一部区間を一般利用者と共有することで借上船の料金値上げを据え置く事が出来た。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者情報の共有	毎朝、出勤職員全員で利用者の情報共有を行い利用者の情報を共有した。	○	○
	危機管理体制の確保	地元消防署との連携確保	毎年、異動のある地元消防署員の方に来島頂き、施設内の地理の把握や、傷病者の搬送方法の確認を行った。	○	○

	<p>県・関係機関との連携</p>	<p>兵庫県青少年本部・兵庫県職員互助会・ひょうご環境体験館・兵庫県森林動物研究センターとの連携</p>	<p>オフラインキャンプで先駆的な事業をサポートするとともに、環境学習・野外活動において関連団体とそれぞれの特徴を活かした事業を行った。</p> <p>また、兵庫県森林動物研究センターとは猪の捕獲檻を借受け、捕獲した猪は研究用の検体として提供している。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
	<p>業務の再委託の状況</p>	<p>該当なし</p>		<p>—</p>	<p>—</p>

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

新型コロナウイルスによる施設の利用制限を解除し、利用者の全面受け入れを行ったが施設内の消毒等を継続して行い、安全・安全委に配慮した結果、クラスターの発生も無く運営することが出来た。

次年度も継続し利用者の安心・安全を考えた運営を行いたい。

課題として、施設の老朽化に伴う不具合箇所が見受けられるので改善に向けて取り組みたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部男女青少年課

施設名	いえしま自然体験センター	現指定管理期間	令和3～5年度(3年間)
指定管理者	(一社)いえしま自然体験協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・限られた予算の中で、利用者の安全確保を第一に考え、緊急修繕等を優先的に実施するなど、施設の維持管理業務は、適正に行われている。
- ・令和4年度は新型コロナウイルスによる施設の利用制限を解除し、感染症対策や安全管理を徹底した施設運営に努めている。今後も引き続き、利用者の安全を配慮していく中で、高齢者、乳児、身体障害者が、快適に施設利用ができるようバリアフリー化などの取り組みに努める必要がある。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・価格高騰によるマイナス収支が続き、利用料の値上げなどの収入増に対する対策が必要。
- ・今後一層の利用者数増加に向けて、新たな事業実施や広報等にも取り組んでもらいたい。
- ・個別に利用者アンケートを実施した自主事業はあるものの、全利用者へのアンケートが今年度も未実施のため、利用サービス向上等に向けた分析が十分でない。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	B			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県立神出学園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	施設全体・敷地内の日常清掃・定期清掃(床・窓ガラスなど)を行う。	週2回の定期清掃を清掃業者に委託した。また、年3回、園内美化の日を設け、職員・学園生で敷地内の清掃を行った。	◎	◎
	設備保守管理	園内施設における電気・ガス・給排水・衛生・消防・ボイラー設備等の運転・保守並びに水質・防虫等の衛生管理を行う。	各設備の保守管理を設備業者に委託し、定期的な点検保守を行った。	◎	◎
	植栽管理	園内の植栽管理を行い、学園内の自然環境を整備する。	学園内の除草作業や花壇整備により、園内の美観を維持できた。	◎	◎
	警備	施設全体の警備を行う。	土日・祝日等の休園日の昼間に日直代行員を配置するとともに、夜間の機械警備を外部業者に委託した。	◎	◎
	小規模修繕	施設の老朽化等による不具合・故障箇所の修繕を行う。	経年劣化による故障等について施設内の安全点検を行い、修繕工事を実施したことで、適切に建物を維持管理できた。	◎	◎
	法定点検の実施	必要な項目について適宜点検を実施して、安全に施設管理を行う。	必要な項目の法定点検を実施し、安全な施設管理ができた。	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	学園生の宿泊にあわせて年間のプログラム・行事を設定し、日曜日及び土曜日、夏期・冬期休業日以外の日に開館日を設けて業務を行う。	学園生の宿泊にあわせて、国民の祝日に開館日を設定し、振替業務を行うことで、効率的な業務運営ができた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	学園生を広く募集し、選考を経て入学の許可を行う。	記者発表やホームページ掲載等による広報を通じて学園生を募集した。選考は2次選考まで実施し、外部委員からなる選考会議で入学者を決定し、公正・公平な選考ができた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	毎日の生活や多彩なプログラムの中で、個々の学園生に適した支援を行う。	個に適した支援、生き方や進路選択の支援、自主性・創造性の伸長の支援、相談を通じ個々の成長支援等多彩な支援を行った。	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	アンケート調査を実施し、利用者が満足のいく支援を提供する。	各種行事・プログラム等の終了時や学園生活の振り返り等のアンケート調査を実施した。調査結果を分析しながら、満足のいく支援に努めた。	◎	◎
利用状況	利用者数	必要な数の新入生を受け入れる。	令和2年度生(29名入学) 令和3年度生(24名入学) 令和4年度生(19名入学)	△	△
	施設稼働率	—	—	—	—
収支状況	収支計画と実績	R4計画 収入 指定管理料 90,172千円 支出 人件費 71,080千円 その他経費 19,092千円	R4実績 収入 指定管理料 92,746千円 支出 人件費 71,242千円 その他経費 21,504千円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	人件費、事務的経費の節約に努める。	コロナ禍の中、各種行事を見直し事務的経費を節約した。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	要望等に対応するため、事業後にアンケートを実施し、参加者のニーズを把握する。	アンケート結果を分析することで、参加者のニーズを把握し、可能な範囲で要望に応えることが可能となった。	◎	◎
	危機管理体制の確保	災害発生時に備え、職員行動マニュアルを作成するとともに消防訓練等を実施する。	職員・学園生を対象に消防訓練等を行うことで、危機管理意識の醸成につながった。	◎	◎
	県・関係機関との連携	通信制の県立高校と連携を行い、高卒資格取得を支援する。	県立網干高校、県立青雲高校等の通信制課程との単位連携による履修単位認定を行い、進学希望者への支援を強化することができた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	運營業務の再委託は行っていない。	—	—	—

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和4年度も上記の「実績・評価」のとおり、適正に各事業を執行した。
令和5年度は、令和4年度までの事業実績や評価を踏まえ、引き続き適正な事業執行に努めるとともに、学園生の確保については課題を整理のうえ対策をたてて取り組むこととする。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部部男女青少年課

施設名	神出学園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・限られた予算の中で、施設の維持管理・運営を適正に行っている。
- ・地域貢献・地域交流プログラムとして、ボディーワークやソーシャルスキルトレーニング等、学園生の表現力や協調性、社会性をのばすカリキュラムの提供に努めている。
- ・豊かな人生経験を持つメッセージ性の高い外部講師による講演会を実施するなど、学園生の視野を広げ、元気回復の一助となる機会の提供に努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・安全点検や清掃、植栽管理等への取組みが定期的・計画的に実施されており、今後も継続する必要がある。
- ・定員割れが続いている状況のため、入学者数獲得に向けたさらなる取り組みが必要である。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	こどもの館	現指定管理期間	令和2～4年度(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	日常清掃(床面、毎日・毎週・毎月)、定期清掃(窓ガラス・換気扇・照明器具・天井・川池年1～4回)、塵芥集積処理	業務委託している清掃作業員による清掃を実施し、こどもの館の景観を維持することができた。	○	○
	設備保守管理	○冷温水発生機運転管理及び照明機器保守管理(作業員常駐) ○空調等自動制御機器保守点検(総合点検年1回、シーズン切替年2回) ○吸収冷温水発生機保守(冷暖房時1回ずつ、運転休止中の保守年1～2回、伝熱管洗浄年1回) ○エレベーター保守点検(毎日遠隔点検・無人、年4回点検整備) ○自動ドア保守(年4回) ●ばいじん測定(年2回) ●A重油地下タンク点検(年1回) ●消防設備保守点検等(年2回) ●環境維持管理及び測定(浮遊粉塵等測定、飲料水検査、貯水槽清掃、ネズミ等駆除、照度測定) ●し尿浄化槽維持管理(清掃年2回、維持管理年4回) ●自家用電気工作物保守(年6回、年1回)	業者委託により適切に保守管理を実施した。	○	◎
	植栽管理	芝刈り、除草(適宜)	予算削減のため、芝刈り、除草のみ実施した。	△	△
	警備	本館・工作館を夜間等機械警備	左記のとおり実施した。	○	◎
	小規模修繕	経年劣化により設備等の傷みが激しく、これに係る予算が制限されるため、緊急的に必要最小限度で対処。対処できないものは、予算要望による。	消防設備、自家発電機、監視カメラ等の緊急を要する修繕を実施できた。	◎	◎

	法定点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●ばいじん測定(年2回) ●A重油地下タンク点検(年1回) ●消防設備保守点検等(年2回) ●環境維持管理及び測定(浮遊粉塵等測定、飲料水検査、貯水槽清掃、ネズミ等駆除、照度測定) ●し尿浄化槽維持管理(清掃年2回、維持管理年4回) 	業者委託により適切に実施した。	○	○
運営業務	開館日・開館時間等	開館日:閉館日(毎週火曜日、月の末日、年末年始等)を除く毎日 開館時間:9:30~16:30	左記のとおり実施した。 ただし、9/19 台風のため臨時休館、1/25・1/28 午前中 積雪のため臨時休館、3/16,17,23 館内整備のため臨時休館(稼働率・98.1%:288.5日/294日)	○	◎
	公共性・公平性の確保	紙媒体である「こどもの館だより」の配付を取りやめ、HP・SNSによる発信に移行。	FB、ツイッター、Lineを配信。HPについては、全面改訂を行った。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	事業体系表を作成し、それに基づいて各事業を計画	予算と人員が少ない中、職員の創意工夫により、親子遊戯室の再開、あそびのひろばの整備、サーキットあそびの整備など、精力的に活動を展開した。	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	受付で来館者アンケート用紙を配架	アンケート用紙に記載された意見・希望に対しては迅速に対応	○	○
利用状況	利用者数	127,286人 [前年度:42,489人] ※R3.8.28よりリニューアルオープン(H元:236,164人)	前年度の5カ月にわたるリニューアル工事による休館とコロナ禍の影響により利用者数は伸び悩んだ。	△	△
	施設稼働率	98.1%(288.5日/294日) [前年度:58.2%:173日/297日]	自然災害で開館が危険な場合を除き、開館した。	△	○
収支状況	収支計画と実績	電気代、重油代の高騰により支出が増加	経費の節減及び県からの補助金により収支均衡を図ることができた。	○	◎
	経費節減に向けた取組	各事業を根本的に見直し、事業費の大幅節減を図るとともに、消耗品、事務用品の在庫確認による徹底した節減を行った。	事業費、消耗品費において、経費を大幅に節減することができた。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	来観者アンケートの意見・要望、電話等での苦情に対して迅速に対応するとともに、職場ミーティングで職員への周知徹底を図った。	来観者の要望・質問等に対して、迅速・適切に対応することができた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	災害時等職員行動マニュアルの作成、避難・通報・消火訓練の実施	災害時等職員行動マニュアルを作成・配付し、緊急時の体制を整備した。防犯カメラの設置、職員の巡回等により、不審者対策の強化を継続した。その結果、不審者の出没はなかった。	○	◎

	県・関係機関との連携	桜山公園周辺の3館とイベント連携開催を進め、集客率を高める。	コロナ禍の影響により、規模を縮小してイベントを開催するとともに、4館館長会議により連携を密に行った。	○	○
	業務の再委託の状況	維持管理業務について、適正に業者を選定する。	入札、見積合わせ等により、適正に業者選定を行った。	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

- ・今年度は、一昨年度のリニューアル工事による休館とコロナ禍の影響が大きいなか、限られた予算・人員配置の中で、様々なアイデアの提案や工夫を凝らすことにより、親子遊戯室の再開、あそびのひろばの整備、屋内外のサーキット遊びの整備を実施し、コロナ禍前の半分程度まで利用者数が回復した。
- ・来年度は、ウイズコロナ、ポストコロナを見据え、館内の機能(利用用途の見直し・新たなイベントの企画等)をより充実させることによって、コロナ前の利用者数の回復を目指していく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部男女青少年課

施設名	こどもの館	現指定管理期間	令和2～4年度(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・限られた予算の中で、日常的な見回り業務を実施するほか、清掃や法定点検等を専門業者に委託し実施するなど、適正な維持管理業務に務めている。
- ・コロナ禍の影響が続く中で各種事業が実施されており、大型児童館として適正な運営に努めている。
- ・高校生等を活用した事業の展開など、幼少期から青少年までの健全な成長を促す取組みが実施されている。
- ・SNSによる発信のほか、HPの全面改定により、効果的な広報に努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・事業の見直しや消耗品費の管理徹底などで経費削減に向けた努力が日常的になされており、今後も引き続き経費節減に努める必要がある。
- ・令和4年度の利用者数はコロナ禍前の半分程度まで回復しており、今後一層の利用者数増加を図る必要がある。そのため、利用者のニーズに即した多様な施設の活用を含めた事業展開を図る必要がある。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県立山の学校	現指定管理期間	令和2年～4年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	生徒・職員で定期的に清掃し、清潔な環境を維持する	生徒・職員が共に減員となったが、分担を見直し環境維持に努めた	○	○
	設備保守管理	消防設備は業者委託を継続する	法令に従い点検を行った	◎	◎
	植栽管理	生徒実習を計画的に実施し維持管理に努める	春夏の生育旺盛な時期を中心に管理した	○	○
	警備	舎監による夜間管理に加え、機械警備を業務委託する	舎監と委託警備業者で適切に管理できた	◎	◎
	小規模修繕	体育館アリーナ・寮共用部照明器具をLED化	省エネ化工事で節電に取り組んだ	◎	◎
	法定点検の実施	消防設備点検を実施	適正に管理し、消防署へ報告書を提出した	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等	チャレンジ体験・冬の体験入学会・中学生対象「トライやる」チャレンジ体験を実施。また、保護者を交えて本校で学校説明会を行う	本校で体験したことにより、入学に対する不安が取り除けた また、校長が各所を訪問し、対面で説明したことにより、施設に対する理解が深まった	◎	◎
	公共性・公平性の確保	記者発表や広報活動により生徒を募集し、選考委員会を開催することにより、適切に生徒を選考する	記者発表や広報活動により広く生徒募集の周知を実施した 生徒の選考は、選考委員会により適切かつ公平に行った	○	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	生徒や学校の活性化のための支援プログラムを展開する	コロナ感染症対策を行ったうえで、カリキュラムの実施時期を柔軟に変更し、可能な限り体験生を受け入れた	○	○
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	修了時に保護者へアンケート調査を実施する	保護者の100%が山の学校に入学させて良かったと感じており、満足度の高い結果を維持できている	◎	◎
利用 状況	利用者数	20名の定員を確保する [前年度:6人]	R2年度 5名入学 修了生3名 R3年度 6名入学 修了生5名 R4年度 4名入学 修了生4名	△	△
	施設稼働率	生徒の夏季休業中に県の他の施設からの見学や学校説明会場として開放する	生徒休業日に研修会や施設見学を受け入れた	○	○

収支状況	収支計画と実績	前年度実績 R3実績 収入 指定管理料 33,819 千円 支出 人件費 22,493 千円 支出 その他経費 11,326 千円	前年度実績 R4実績 収入 指定管理料 29,004 千円 支出 人件費 18,948 千円 支出 その他経費 10,056 千円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	人件費・事務経費の節約に努める	携帯電話機種変更時にカケホーダイプランとし、通話料金の削減に取り組んだ	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	修了式後アンケート調査を実施、生徒や保護者のニーズを探る	アンケート結果を参考とし、生徒募集や広報活動に活用した	○	◎
	危機管理体制の確保	危機管理マニュアル点検により問題点を探る	避難訓練を日中及び夜間に実施し、危機管理体制の確認を行った	○	○
	県・関係機関との連携	嬉野台生涯教育センターやいなみの学園等伐木実習を通じ連携を図る	新たな実習地の確保と他のカリキュラムでの連携が構築できた	◎	◎
	業務の再委託の状況	—	—	—	—

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

施設管理については、概ね良好に実施できている
令和4年度は、利用者が少ないながら、本科生は全員が修了し、1年を通して指導ができた。
今後は、現代の多様化した青少年に ICT 対応を含め、個々に合わせた指導方法が必要である。
また生徒募集は、広報活動に動画等の動きがあるものを活用する予定である。

令和4年度 総合評価シート

評価者：県民生活部男女青少年課

施設名	山の学校	現指定管理期間	令和2～4年度(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県青少年本部	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・限られた予算の中で、施設の維持管理・運営が、適正に行われている。
- ・地域貢献・交流プログラムとして、里山保全活動や地域施設を利用したの森林学習など、生徒の表現力や協調性、社会性をのばすカリキュラムの提供に努めている。
- ・地域交流活動を通して、生徒のコミュニケーション能力の向上や自己肯定感を高める機会の提供に努めている。
- ・保護者アンケートの結果、山の学校に入学させて「良かった」との回答を全回答者より得られた。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・安全点検や清掃、植栽管理等への取組みが定期的・計画的に実施されており、今後も継続する必要がある。
- ・保護者アンケートの結果、山の学校での体験が子どもの成長に「役立っている」との回答を全回答者より得られたにもかかわらず、定員割れが続いている状況のため、入学者数獲得に向けたさらなる取り組みが必要である。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である